

大学等名	白鷗大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

- ① 教育プログラムの修了要件
- 学部・学科によって、修了要件は相違しない
- ② 対象となる学部・学科名称

- ③ 修了要件
- 教養科目「データサイエンス基礎」の2単位を取得すること。
令和6年度以前の入学者は教養科目「教養特講（データサイエンス基礎）」の2単位を取得すること。

※「教養特講（データサイエンス基礎）」は正規科目である「データサイエンス基礎」の開講に先立ち令和6年度から開講されている科目であり、両科目に内容の違いはない。令和7年度以降は「教養特講（データサイエンス基礎）」と「データサイエンス基礎」の両科目を、同一の開講日時・内容で開講している。前者の科目の単位を修得した学生が後者の科目の単位を再度履修することを防ぐため、令和6年度以前に入学した学生は令和7年度以降も「教養特講（データサイエンス基礎）」のみが履修可能であり、この科目の単位取得が当教育プログラムの修了要件となる。なお、教養特講は通常の教養科目と変わりなく卒業要件の単位として扱われる。詳しくは「補足 教養特講について」を参照。

必要最低科目数・単位数

1

科目

2

単位

履修必須の有無

令和10年度以降に履修必須とする計画、又は未定

- ④ 現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
データサイエンス基礎	2	○	○	○					

- ⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
データサイエンス基礎	2	○	○	○					

- ⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
データサイエンス基礎	2	○	○	○					

- ⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
データサイエンス基礎	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
データサイエンス基礎	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・ビッグデータ、IoT、AI、生成AI、ロボット「データサイエンス基礎」(1回目) ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化「データサイエンス基礎」(1回目) ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会「データサイエンス基礎」(1回目) ・複数技術を組み合わせたAIサービス・人間の知的活動とAIの関係性「データサイエンス基礎」(1回目) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「データサイエンス基礎」(15回目)
	1-6	・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス基礎」(1回目、2回目) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、強化学習、転移学習、生成AIなど)「データサイエンス基礎」(7回目、15回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「データサイエンス基礎」(11回目、12回目) ・1次データ、2次データ、データのメタ化「データサイエンス基礎」(11回目、12回目) ・データ作成(ビッグデータとアノテーション)「データサイエンス基礎」(1回目) ・データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス基礎」(8回目、9回目)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「データサイエンス基礎」(2回目) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「データサイエンス基礎」(2回目) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「データサイエンス基礎」(4回目、11回目、12回目) ・対話、コンテンツ生成、翻訳・要約・執筆支援、コーディング支援など生成AIの応用「データサイエンス基礎」(2回目、15回目)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析:予測、グルーピング、パターン発見、最適化、モデル化とシミュレーション・データ同化「データサイエンス基礎」(3回目、6回目、13回目、14回目) ・データ可視化:複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など「データサイエンス基礎」(4回目、5回目) ・非構造化データ処理:言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「データサイエンス基礎」(6回目、7回目) ・認識技術、ルールベース、自動化技術「データサイエンス基礎」(6回目、7回目)
	1-5	・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「データサイエンス基礎」(4回目、11回目、12回目) ・教育、芸術、流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用 事例紹介「データサイエンス基礎」(1回目、2回目、8回目)

(4)活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・倫理的・法的・社会的課題(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues)「データサイエンス基礎」(10回目) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「データサイエンス基礎」(10回目) ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データサイエンス基礎」(10回目) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「データサイエンス基礎」(10回目) ・データバイアス、アルゴリズムバイアス「データサイエンス基礎」(10回目) ・データ・AI活用における負の事例紹介「データサイエンス基礎」(10回目) ・生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫 など)「データサイエンス基礎」(10回目、15回目)
	3-2	・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「データサイエンス基礎」(9回目) ・匿名加工情報、暗号化と復号、ユーザ認証とパスワード、アクセス制御、悪意ある情報搾取「データサイエンス基礎」(9回目) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データサイエンス基礎」(9回目) ・サイバーセキュリティ「データサイエンス基礎」(9回目)
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データ解析ツール(スプレッドシート、BIツール)「データサイエンス基礎」(1回目) ・データの集計(和、平均)「データサイエンス基礎」(1回目) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「データサイエンス基礎」(3回目) ・データの種類(量的変数、質的変数)「データサイエンス基礎」(3回目) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値＝最頻値でないことが多い)「データサイエンス基礎」(3回目) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、外れ値「データサイエンス基礎」(3回目) ・統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「データサイエンス基礎」(3回目) ・打ち切りや欠測脱落を含むデータ、層別の必要なデータ「データサイエンス基礎」(11回目) ・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)「データサイエンス基礎」(14回目)
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ、箱ひげ図)「データサイエンス基礎」(4回目、5回目) ・優れた可視化事例の紹介(可視化することによって新たな気づきがあった事例など)「データサイエンス基礎」(4回目) ・不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素)「データサイエンス基礎」(5回目) ・相手に的確かつ正確に情報を伝える技術や考え方(スライド作成、プレゼンテーションなど)「データサイエンス基礎」(12回目)
	2-3	・データの取得(機械判読可能なデータの作成・表記方法)「データサイエンス基礎」(2回目、8回目、9回目、11回目、12回目) ・表形式のデータ(csv)「データサイエンス基礎」(2回目、8回目、9回目) ・データの集計(和、平均)「データサイエンス基礎」(11回目) ・データの並び替え、ランキング「データサイエンス基礎」(11回目) ・データ解析ツール(スプレッドシート、BIツール)「データサイエンス基礎」(11回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

数理・AI・データサイエンス領域に関する基本的なリテラシーを身に付けるとともに、自身の専門領域においてデータサイエンティストなどのスペシャリストに仕事を依頼することのできるような基礎的な能力を身に付けることを目標として、以下の3点を習得する。

① データサイエンスの基礎的な知識と技法を身に付ける。

② 基礎的な手法により、データの収集・加工・分析ができるようになる。

③ データを扱う際に留意すべき倫理やその他の事項を理解する。

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

- ①プログラム開設年度
- 令和6年度(和暦)
- ②大学等全体の男女別学生数
- 男性2877人女性2361人(合計5238人)
- (令和6年5月1日時点)
- ③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
経営学部	1,942	400	1,600	96	83											96	6%
法学部	1,262	270	1,080	51	45											51	5%
教育学部	2,034	430	1,720	18	15											18	1%
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合 計	5,238	1,100	4,400	165	143	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	165	4%

大学等名 白鷗大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 122 人 (非常勤) 125 人

② プログラムの授業を教えている教員数 2 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 古瀬 一隆

(役職名) 教授、数理・データサイエンス・AI教育プログラム推進部会長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

白鷗大学情報処理教育研究センター運営委員会 数理・データサイエンス・AI教育プログラム推進部会

(責任者名) 古瀬 一隆

(役職名) 教授、数理・データサイエンス・AI教育プログラム推進部会長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

数理・データサイエンス・AI教育プログラム推進部会内規

⑥ 体制の目的

白鷗大学における数理・データサイエンス・AI教育を推進することを目的とする。
本体制では、数理・データサイエンス・AIの基本的なリテラシー能力の育成を目指して、適切な教育方法の策定、運営、及び環境の構築を目指す。また、基本的なリテラシー能力に加えて、本学を構成する経営、法、教育の各分野における学生が個々に専門性を活かしつつ、数理・データサイエンス・AIのスペシャリストと共に協働することのできる資質や思考を養成していく。
これらの体制の実施に加えて、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」への申請及び更新に関する業務の遂行、「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」への参加による教育精度の向上も併せて実施していく。

⑦ 具体的な構成員

部会長 古瀬 一隆(経営学部 教授)
部会員 佐藤 伸也(経営学部 准教授)
高島 幸成(経営学部 講師)

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和6年度実績	4%	令和7年度予定	6%	令和8年度予定	8%
令和9年度予定	10%	令和10年度予定	12%	収容定員(名)	4,400
具体的な計画					
本学では「データサイエンス基礎」を経営学部、法学部、教育学部の全学部の学生が履修可能な科目として開講している。各学部生が履修を行いやすいように複数の講座を開講しており、それぞれの開講曜日、時間をずらして、学生が履修しやすいように配慮をしている。 令和6年度の実績では履修定員が埋まらなかった講座があったため、履修定員上限までの履修者の増加を当面の目標とする。履修定員まで履修者が増えた場合、令和7年度から8年度に向けて3%ずつ履修率が増加していくことになる。ただし、本学は文系学生を主体とするため、データサイエンス領域に対する需要を加味すると2%ずつの増加が適正な増加量になると考えられる。 MDASHの認定が得られた場合、令和8年度からは新入生ガイダンスにおいて、AI戦略2019以降の数理・AI・データサイエンスの流れを説明し、「今後、他大学を含めて高等教育を受けた人材にとって、データサイエンス科目を修得することが一般化する」ことを示し、学生に対して修得を奨励していく。加えて、本来は本プログラム履修後に修得すべき、データサイエンス、AI、プログラミング等の科目においても関連分野の基礎科目として開講している旨の周知を行っていく。 あわせて、令和8年度までの3年間の実績から判断し、需要が高まるようであれば開講数の増加を検討し、履修率の増加を目指していく。					

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本学は本キャンパス、及び大行寺キャンパスの2地点にキャンパスを持ち、それぞれ経営学部と法学部が本キャンパス、教育学部が大行寺キャンパスを拠点としている。この中で、現在は本キャンパスのみで「データサイエンス基礎」を開講している。両キャンパスの移動所要時間は20分程度であるため履修に関して特別大きな負担が生じないように開講時間を1限や3限等にするなど、前後の時間に余裕が生じる時間帯で開講している。加えて、本キャンパスは小山駅前に面しており、大行寺キャンパスへ通学する教育学部生も通学途上で受講しやすい点も追記しておく。 また、教育学部生の履修者が増加した場合は開講時間を増やし、大行寺キャンパスで行うことを計画しており、そのための人員、設備の調整を行っていく。
--

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

電子掲示板などを利用して、全学的にデータサイエンス科目の重要性を示して履修者を募っている。また、MDASH認定が得られた場合、令和8年度からは特に入学初年度生のガイダンスに焦点を当て、各情報科目との関連性を示しながら、初年度学習として最適な点、高等教育学位保持者にとって必須の知識である点などを示して、履修の必要性の説明を行い、多くの学生が履修できるように図る。
--

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

1. 講義資料はWebにPDF形式で掲載することで学習教材として個々人が利用しやすいようにしている
2. 講義内でデータ処理に使うツールについては、Microsoft Office、及びWebブラウザ上から無料で使うことのできるものを選んでいく。また本学ではMicrosoft 365アカウントを入学時に交付しているため、講義で取り扱う全てのデータ処理についてブラウザ上から実施できるため、復習を行いやすい授業体制を構築している
3. 下記⑫に示すように本学ではLMSを利用して学生の質問に対応している

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本学ではLMSとしてWebClassを導入しており、利用の有無にかかわらず開講科目で必ずクラスを作成している。「データサイエンス基礎」においては、授業資料の掲載、課題の出題とフィードバック、アンケートの実施や質問の送付などで利用している。

また、全学的にWebClassを利用する機会が多いため、本学学生はWebClassの利用に関して1年生から経験しており、「データサイエンス基礎」において同システムの利用に関する問題が生じる可能性は低い。

大学等名 白鷗大学

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制（委員会・組織等）

白鷗大学情報処理教育研究センター運営委員会 数理・データサイエンス・AI教育プログラム点検・評価部会

（責任者名）船田 眞里子

（役職名）教授、白鷗大学情報処理教育研究センター運営委員長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等																	
学内からの視点																			
プログラムの履修・修得状況		本プログラムは令和6年度から開始しており、開設から1年であるため修得率は低い状況にある。 現在、受講者の比率は経営学部、法学部、教育学部の順になっており、特に教育学部の受講者が少ない。この受講者の偏りについては、経営学部が元来から情報系の科目を複数開講しており、学生が比較的情報系の科目に対して慣れ親しんでいる一方、法学部、教育学部は情報系の科目に慣れていないことが要因として考えられる。加えて、現在、プログラムを開講しているキャンパスが経営学部、法学部のある本キャンパスで行っていることも影響していると考えられる。 受講者の状況を鑑みて教育学部のキャンパスで開講を行うなど、全学的にプログラムの履修・修得者数の増加を目指す。																	
学修成果		白鷗大学シラバスでは各科目の到達目標、及び評価についての配点を明示している。また、シラバスに従って授業中には関連した課題、小テストを与え、適宜学生の理解状況を確認しながら授業を進めており、最終的な単位取得者は87%であった。 加えて、本プログラムのためのアンケート（第14回、15回に実施）において『データサイエンス基礎を受講してみて、シラバスに記載の「データサイエンスの基礎的な知識と技法を身に付ける」「基礎的な手法により、データの収集・加工・分析ができるようになる」「データを扱う際に留意すべき倫理やその他の事項を理解する」の3要素について、自分の考える到達度を以下から選んでください。』との質問に対しては、「到達した」「大分到達した」の解答が66%であり、「どちらともいえない」「少し到達していない」「到達していない」が34%になった。さらに、自由記述欄では到達していないと自己判断している学生でも、データサイエンス分野に関する興味が大きく向上している旨の記述がみられるため、おおむね学修成果が上がっていると考えられる。																	
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度		学生自身に理解度・到達状況について自己申告制のアンケートを実施している（質問事項「データサイエンス基礎について、自身で感じる理解度を0～100の数値で表してください」）。理解度に関しては分析・改善を行いやすいように選択式ではなく数値による入力式にしている。 令和6年度前期開講の「データサイエンス基礎」では2講座、合計受講者数が104人おり、有効回答数97で右図の結果だった。また、後期開講では合計受講者数が59人、有効回答数44で右図の結果だった。学生自身の自己判断で判定するため、学生が謙遜し若干低めの点数が出る傾向にある。例えば成績評価で90点以上の学生が45点と評価している事例などがみられる。今後は全体として、理解度の数値を高く自己評価できる学生を増やしていくように改善を行っていく。 2024年前期 自己認識理解度 <table><tr><th>理解度</th><th>割合</th></tr><tr><td>70以上</td><td>52%</td></tr><tr><td>50~69</td><td>38%</td></tr><tr><td>49以下</td><td>10%</td></tr></table> 2024年後期 自己認識理解度 <table><tr><th>理解度</th><th>割合</th></tr><tr><td>70以上</td><td>41%</td></tr><tr><td>50~69</td><td>34%</td></tr><tr><td>49以下</td><td>25%</td></tr></table>		理解度	割合	70以上	52%	50~69	38%	49以下	10%	理解度	割合	70以上	41%	50~69	34%	49以下	25%
理解度	割合																		
70以上	52%																		
50~69	38%																		
49以下	10%																		
理解度	割合																		
70以上	41%																		
50~69	34%																		
49以下	25%																		
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度		後輩への推奨度に関して「データサイエンス基礎を受講したうえで、未受講の友人や後輩などに勧めるとしたら推奨度はどのくらいだと考えますか。0～100の数値で表してください。」という設問でアンケートを実施している。令和6年前期は2講座、合計受講者数が105人おり、有効回答数97で右図の結果だった。また、後期開講では合計受講者数が59人、有効回答数41で右図の結果だった。 点数全体として非常に高い数値ではないが、個々のコメントについては低い点数をつけた学生でも「将来の役に立つ内容であるため推奨する」旨の記載が多かった。全体的に文系大学であるため、Excel等のデータ処理を苦手とする学生が多く、友人・後輩もその傾向にあるため勧め辛いとする者が多かった。データ処理についての苦手意識に対処するために、Excel操作についての自己学習用動画などの補助教材を充実させることでよりプログラムを受講しやすい環境を整えていく。 2024年前期 他学生推奨度 <table><tr><th>推奨度</th><th>割合</th></tr><tr><td>70以上</td><td>65%</td></tr><tr><td>50~69</td><td>25%</td></tr><tr><td>49以下</td><td>10%</td></tr></table> 2024年後期 他学生推奨度 <table><tr><th>推奨度</th><th>割合</th></tr><tr><td>70以上</td><td>61%</td></tr><tr><td>50~69</td><td>12%</td></tr><tr><td>49以下</td><td>27%</td></tr></table>		推奨度	割合	70以上	65%	50~69	25%	49以下	10%	推奨度	割合	70以上	61%	50~69	12%	49以下	27%
推奨度	割合																		
70以上	65%																		
50~69	25%																		
49以下	10%																		
推奨度	割合																		
70以上	61%																		
50~69	12%																		
49以下	27%																		
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況		令和6年前期の本プログラム履修者は履修定員の88%の履修申し込み状況であった。これに対して、令和6年後期の本プログラム履修者は開講科目定員の100%であり、開講科目に対する認識は進んでいるものと考えられる。一方、履修者数の増加に関しては担当者の開講上限数に制約があるため、履修者数の上限に達した段階で開講数の増加を検討する。																	

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本プログラムは令和6年度から開始している。受講者の中には4年生も含まれているため、令和7年度の時点で本プログラム修了者から就職・卒業をした学生は少数だが存在している。しかしながら、本プログラム受講中あるいは受講前に就職活動を終了している学生が大半であるため本プログラムの影響を測ることは難しい。また、卒業生についても入社直後の状況であり、本プログラム終了者の企業等での活躍状況についても現状では把握できない状態にある。 令和8年度卒業生からは本プログラムの影響を測ることが可能であるため、進路関連部署と連携しながら、就職先等の状況について継続的に調査を行っていく予定である。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	上述の通り、令和6年度から開始したプログラムであるため、産業界からの教育プログラム内容に関する意見を募れていない状態にある。今後、上述の企業等の評価を収集する過程において企業からの要望や提案を収集し、教育プログラムへのフィードバックを行っていく。また、特に本学所在地の小山市に根差す企業との連携を進めていく。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	講義内では生成AIでできることや生じる問題点、データサイエンスを用いた企業での実用例など、数理・AI・データサイエンスに関連する最新の話題や事例の紹介などを通して常に関心を維持するように工夫している。また、本プログラム履修者は文系学生であるため、機械学習やテキストマイニングなどの手法や知識の説明のみでは内容を得心しがたい部分がある。そのため、Web上から簡単な操作で画像を認識する機械学習を体験できるツールや、テキストマイニングのツールを用いて体験に伴う理解の促進に努めている。 加えて、Excelを用いたデータ分析等に関しては技法を学ぶとともに、分類や回帰をExcelを利用して実施・体験できる教材の利用や、グループワークによる問題解決プロセスを課題にすることで、実践によるデータ分析の技術と意義を体得できるように授業構成を工夫している。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	授業担当で学期中には週1度のペースで進捗状況と学生の状況についての情報交換を行っている。また、大学全体で行っている授業に対する満足度調査とは別に「データサイエンス基礎」科目の修得状況を測る独自のアンケートを行って、学期ごとに担当者で検証を行っている。 内容としてはベースとなるテキストやトピックを中心としながら、関連する時事の話題を盛り込むことに注意を払っている。また、文系学生であるため、数式モデル等の理論説明だけで理解することが難しいため、アプリケーションを用いた体験を盛り込むことに注力して理解・興味の向上を図っている。 これらの取り組みの中で、「生成AIを有効に機能させるプロンプトのコツ」「Excel操作の自己学習用の動画教材化」などの改善案があり、新たに組み入れることを検討している状況にある。

シラバス参照

開講年度 Academic year	2024年度		
講義コード Course title (Japanese)	02A041101		
講義名 Course title(Japanese)	教養特講（データサイエンス基礎）		
英文講義名 Course title (English)	Fundamentals of Data Science		
(副題) Course subtitle			
開講責任部署 Faculty			
講義開講時期 Semester(s)	前期	講義区分 Type	演習
単位数 Credit hour(s)	2	時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	月曜日	時限 Period	4 時限
校地 Campus	本キャンパス(駅東通り)		

所属名称	ナンバリングコード
白鷗大学	C2-INF101LJ

担当教員 Lecturer(s)			
職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Work experience	所属学部 Department
専任教員	◎ 佐藤 伸也		経営学科

授業の内容（主題） Course description	データサイエンスの基礎的な知識と技法を学ぶ。 データサイエンスとは、データを収集・加工・分析し、そこから有用な情報を抽出することによって、問題解決や意思決定を行う科学である。この講義では、データサイエンスの基礎的な事項であるデータの操作や可視化、分類や回帰などの数理と基礎技法、データの取り扱いと倫理などを解説する。
到達目標 Course objectives	- データサイエンスの基礎的な知識と技法を身に付ける。 - 基礎的な手法により、データの収集・加工・分析ができるようになる。 - データを扱う際に留意すべき倫理やその他の事項を理解する。

ディプロマポリシーとの関連 Accordance with diploma policy

◎：非常に強く関連する
○：強く関連する
△：関連する
空欄：該当しない

①二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力	
②激変する国際社会の中であって、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力	

③本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力	◎
④自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力	

授業計画表 Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション 複雑・高度化する社会課題に対するデータサイエンスとAI Excelの基本的な操作方法（１） 表とグラフの作成	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第2回	データサイエンスの応用事例 Excelの基本的な操作方法（２） 平均・標準偏差の算出	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第3回	機械学習の基本と精度評価 Excelの基本的な操作方法（３） 基本統計量	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第4回	データの可視化の役割と方法（１） データ・情報・知識・知恵の違いと可視化による意義	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第5回	データの可視化の役割と方法（２） 代表的な可視化手法と可視化による問題点	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第6回	テキストマイニングの意味と活用事例、及び実践	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第7回	人工知能とディープラーニングの特長と活用事例、及び実践	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第8回	オープンデータ（１） オープンデータと著作権、ライセンス	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第9回	オープンデータ（２） オープンデータの成り立ちと利用	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第10回	データと倫理	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第11回	データ収集の基礎と演習（１）	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第12回	データ収集の基礎と演習（２）	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第13回	分類	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第14回	回帰	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第15回	まとめとこれからのデータサイエンスの活用	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）

授業計画コメント Course outline	授業計画の概要は上記の表の通りであるが、順番の入れ替え等の調整が担当教員によって行われることがある。詳細については第1回の講義の際に担当の教員から説明がある。
授業の進め方 Session plan	講義と実習を適宜組み合わせて実施する。
アクティブラーニング Active learning	授業内で適宜、教室のPCを用いて実習形式で取り組む課題を出題する。
授業時間外の学修（予習・復習等） Preparation and review outside classroom hours	適宜講義資料を配布するので、その資料や参考書を利用して各回の復習を行うこと。授業の進捗度合いによっては課題を課す場合があるので、締め切りまでに指示された方法で提出すること。

教科書等 Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
		11				

1	データサイエンスリテラシー 応用事例と演習から学ぶ「誰も」が身に付けたい力	高橋弘毅、他	実教出版	2022年	2300円	ISBN978-4-407-35257-3
2						
3						
4						
5						

(必ず購入すべきもの) Materials required for sessions	上記の教科書を購入すること。
参考図書 Reference book(s)	吉岡剛志、他『AIデータサイエンスリテラシー入門』技術評論社

成績評価方法および評価基準 Evaluation criteria				
	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio		40%	40%	20%

成績評価の方法に関する注意点 Assessment criteria	出席回数が3分の2以上であることを条件に、上記の「評価比率」に基づいて評価する（100点満点で60点以上を合格）。したがって、「欠席回数が5回以内」であっても、単位を落とす可能性もあるのでしっかり取り組むこと。
科目のレベル、前提科目など Level / Prerequisites	前提科目： なし

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

開講年度 Academic year	2024年度		
講義コード Course title (Japanese)	02A041102		
講義名 Course title(Japanese)	教養特講（データサイエンス基礎）		
英文講義名 Course title (English)	Fundamentals of Data Science		
(副題) Course subtitle			
開講責任部署 Faculty			
講義開講時期 Semester(s)	前期	講義区分 Type	演習
単位数 Credit hour(s)	2	時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	水曜日	時限 Period	1 時限
校地 Campus	本キャンパス(駅東通り)		

所属名称	ナンバリングコード
------	-----------

担当教員 Lecturer(s)			
職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Work experience	所属学部 Department
専任教員	◎ 高島 幸成		経営学科

授業の内容（主題） Course description	データサイエンスの基礎的な知識と技法を学ぶ。 データサイエンスとは、データを収集・加工・分析し、そこから有用な情報を抽出することによって、問題解決や意思決定を行う科学である。この講義では、データサイエンスの基礎的な事項であるデータの操作や可視化、分類や回帰などの数理と基礎技法、データの取り扱いと倫理などを解説する。
到達目標 Course objectives	- データサイエンスの基礎的な知識と技法を身に付ける。 - 基礎的な手法により、データの収集・加工・分析ができるようになる。 - データを扱う際に留意すべき倫理やその他の事項を理解する。

ディプロマポリシーとの関連 Accordance with diploma policy

◎：非常に強く関連する
○：強く関連する
△：関連する
空欄：該当しない

①二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力	
②激変する国際社会の中であって、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力	
③本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力	◎

授業計画表

Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション 複雑・高度化する社会課題に対するデータサイエンスとAI Excelの基本的な操作法（1）	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第2回	データサイエンスの応用事例 Excelの基本的な操作方法（2）	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第3回	機械学習の基本と精度評価 Excelの基本な操作法（3）	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第4回	データの可視化の役割と方法（1） データ・情報・知識・知恵の違いと可視化による意義	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第5回	データの可視化の役割と方法（2） 代表的な可視化手法と可視化による問題点	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第6回	テキストマイニングの意味と活用事例、及び実践	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第7回	人工知能とディープラーニングの特長と活用事例、及び実践	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第8回	オープンデータ（1） オープンデータと著作権、ライセンス	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第9回	オープンデータ（2） オープンデータの成り立ちと利用	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第10回	データと倫理	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第11回	データ収集の基礎と演習（1）	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第12回	データ収集の基礎と演習（2）	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第13回	分類	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第14回	回帰	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）
第15回	まとめとこれからのデータサイエンスの活用	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）

授業計画コメント

Course outline

授業計画の概要は上記の表の通りであるが、順番の入れ替え等の調整が担当教員によって行われることがある。詳細については第1回の講義の際に担当の教員から説明がある。

授業の進め方

Session plan

講義と実習を適宜組み合わせる実施する。

アクティブラーニング

Active learning

授業内で適宜、教室のPCを用いて実習形式で取り組む課題を出題する。

授業時間外の学修（予習・復習等）

Preparation and review outside classroom hours

適宜講義資料を配布するので、その資料や参考書を利用して各回の復習を行うこと。授業の進捗度合いによっては課題を課す場合があるので、締め切りまでに指示された方法で提出すること。

教科書等

Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1	データサイエンスリテラシ	高橋弘毅、他	実教出版	2022年	2300円	ISBN978-4-407-35257-

	ー 応用事例と演習から学ぶ「誰も」が身に付けたい力					3
2						
3						
4						
5						

(必ず購入すべきもの) Materials required for sessions	上記の教科書を購入すること。
参考図書 Reference book(s)	吉岡剛志、他『AIデータサイエンスリテラシー入門』技術評論社

成績評価方法および評価基準 Evaluation criteria				
	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio		40%	40%	20%

成績評価の方法に関する注意点 Assessment criteria	出席回数が3分の2以上であることを条件に、上記の「評価比率」に基づいて評価する（100点満点で60点以上を合格）。したがって、「欠席回数が5回以内」であっても、単位を落とす可能性もあるのでしっかり取り組むこと。
科目のレベル、前提科目など Level / Prerequisites	前提科目： なし

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

開講年度 Academic year	2024年度		
講義コード Course title (Japanese)	02A041103		
講義名 Course title(Japanese)	教養特講（データサイエンス基礎）		
英文講義名 Course title (English)	Fundamentals of Data Science		
(副題) Course subtitle			
開講責任部署 Faculty			
講義開講時期 Semester(s)	後期	講義区分 Type	演習
単位数 Credit hour(s)	2	時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	水曜日	時限 Period	3 時限
校地 Campus	本キャンパス(駅東通り)		

所属名称	ナンバリングコード
白鷗大学	C2-INF101LJ

担当教員 Lecturer(s)			
職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Work experience	所属学部 Department
専任教員	◎ 高島 幸成		経営学科

授業の内容（主題） Course description	データサイエンスの基礎的な知識と技法を学ぶ。 データサイエンスとは、データを収集・加工・分析し、そこから有用な情報を抽出することによって、問題解決や意思決定を行う科学である。この講義では、データサイエンスの基礎的な事項であるデータの操作や可視化、分類や回帰などの数理と基礎技法、データの取り扱いと倫理などを解説する。
到達目標 Course objectives	- データサイエンスの基礎的な知識と技法を身に付ける。 - 基礎的な手法により、データの収集・加工・分析ができるようになる。 - データを扱う際に留意すべき倫理やその他の事項を理解する。

ディプロマポリシーとの関連 Accordance with diploma policy

◎：非常に強く関連する
○：強く関連する
△：関連する
空欄：該当しない

①二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力	
②激変する国際社会の中であって、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力	

③本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力	◎
④自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力	

授業計画表
Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション 複雑・高度化する社会課題に対するデータサイエンスとAI －数理・AI・データサイエンスが必要とされる社会の変化と技術の進歩 －データ駆動型社会とデータドリブン Excelを用いたデータの取り扱い（１）	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第2回	データサイエンスの応用事例 －データの種類と利用法 －データサイエンス・AIの活用領域と現場 Excelを用いたデータの取り扱い（２）	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第3回	機械学習の基本と精度評価 －教師あり学習、教師なし学習と強化学習 －パターン発見によるモデル化と予測 －クラス分類モデルの評価 Excelの基本的な操作法（３）	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第4回	データの可視化の役割と方法（１） －データ・情報・知識・知恵の違いと可視化による意義 －データの種類と分布 －代表的な可視化手法	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第5回	データの可視化の役割と方法（２） －代表的な可視化手法 －データの性質を分ける尺度 －不適切な可視化表現	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第6回	テキストマイニングの意味と活用事例、及び実践 －機械学習による言語処理	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第7回	人工知能とディープラーニングの特長と活用事例、及び実践 －人工ニューロン、ニューラルネットワーク、ディープラーニング －ディープラーニングと従来型の機械学習の違い －生成AIの特徴と注意点	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第8回	オープンデータ（１） －オープンデータの潮流と背景 －著作権とライセンス	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第9回	オープンデータ（２） －オープンデータの成り立ちと利用 －オープンガバメント、オープンサイエンス、集合知 情報の取り扱いとセキュリティ －情報セキュリティの気密性、完全性、可用性 －情報セキュリティとセキュリティ事故の事例紹介	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第10回	データ・AIと倫理、法、社会的な課題 －ELSIとGDPR －データを扱う上での倫理 －データを扱う上でのバイアス	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第11回	データ収集の基礎と演習（１） －データサイエンスサイクルと課題の抽出 －データの取得とデータクリーニング	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第12回	データ収集の基礎と演習（２） －課題解決に向けた提案	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第13回	分類 －データに基づくモデル構築 －グルーピングとパターンの発見 －k近傍法による予測	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）
第14回	回帰 －データに基づくモデル構築	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習４時間）

	- 相関と回帰 - 回帰モデルによる予測	
第15回	まとめとこれからのデータサイエンスの活用	授業内容の確認と整理、演習（予習・復習 4 時間）

授業計画コメント Course outline	授業計画の概要は上記の表の通りであるが、順番の入れ替え等の調整が担当教員によって行われることがある。詳細については第1回の講義の際に担当の教員から説明がある。
授業の進め方 Session plan	講義と実習を適宜組み合わせて実施する。
アクティブラーニング Active learning	授業内で適宜、教室のPCを用いて実習形式で取り組む課題を出題する。
授業時間外の学修（予習・復習等） Preparation and review outside classroom hours	適宜講義資料を配布するので、その資料や参考書を利用して各回の復習を行うこと。授業の進行度合いによっては課題を課す場合があるので、締め切りまでに指示された方法で提出すること。
教科書等 Textbooks and materials	

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1	データサイエンスリテラシー 応用事例と演習から学ぶ「誰も」が身に付けたい力	高橋弘毅、他	実教出版	2022年	2300円	ISBN978-4-407-35257-3
2						
3						
4						
5						

(必ず購入すべきもの) Materials required for sessions	上記の教科書を購入すること。
参考図書 Reference book(s)	吉岡剛志、他『AIデータサイエンスリテラシー入門』技術評論社
成績評価方法および評価基準 Evaluation criteria	

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio		40%	40%	20%

成績評価の方法に関する注意点 Assessment criteria	出席回数が3分の2以上であることを条件に、上記の「評価比率」に基づいて評価する（100点満点で60点以上を合格）。したがって、「欠席回数が5回以内」であっても、単位を落とす可能性もあるのでしっかり取り組むこと。
科目のレベル、前提科目など Level / Prerequisites	前提科目：なし

[ウインドウを閉じる](#)

2024年度 特講申請一覧(経営学部分)

No.	開講科目名	担当教員	新規継続	履修年次	履修可能入学年度	再試験	開講元	講義区分	単位	開設時期	開講先 学部・専攻						備考	教務委員会	教授会	担当学部
											経	法	児童	スポ	英語	心理				
1	教養特講(現代日本の政治と外交)	川上 高志	継続	1	全	×	経営	講義	2	前期/後期	経	法	児童	スポ	英語	心理	2024より経営特任(2023まで法客員)前期or後期、本Cのみ開講。	2023/10/18	2023/11/1	経営
2	教養特講(ソーシャルデザイン論)	小笠原 伸	継続	1	全	○	経営	講義	2	後期	経	法	児童	スポ	英語	心理		2023/10/18	2023/11/1	経営
3	専門特講(メディア文章講座)	川上 高志	継続	1	全	×	経営	講義	2	前期/後期	経						2024より経営特任(2023まで法客員)「新聞論」から名称変更 既履修者は履修不可。	2023/10/18	2023/11/1	経営
4	専門特講(景気循環入門)	嶋中 雄二	継続	2	2023	×	経営	講義	2	前期/後期	経							2023/10/18	2023/11/1	経営
5	専門特講(Cross-Cultural Understanding)	磯 ステファニー・侑子	継続	1	全	○	経営	講義	2	前期	経							2023/10/18	2023/11/1	経営
6	専門特講(中国経済)	范 力	継続	1	全	×	経営	講義	2	後期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>	2023/10/18	2023/11/1	経営
7	専門特講(産業集積論)	高木 孝紀	継続	1	全	×	経営	講義	2	前期	経							2023/10/18	2023/11/1	経営
8	専門特講(現代社会と新しい組織)	高木 孝紀	継続	1	全	×	経営	講義	2	後期	経							2023/10/18	2023/11/1	経営
9	専門特講(観光文化論)	築田 香織	継続	1	全	×	経営	講義	2	前期/後期	経							2023/10/18	2023/11/1	経営
10	専門特講(資本市場の役割と証券投資)	野村証券	継続	1	全	×	経営	講義	2	前期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>「株投資と証券市場」から名称変更 既履修者は履修不可。	2023/10/18	2023/11/1	経営
11	専門特講(地域の経済と金融)	あしざん総合研究所	継続	1	全	×	経営	講義	2	前期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>	2023/10/18	2023/11/1	経営
12	専門特講(商業簿記3級セミナー)	星 法子	継続	1	全	×	経営	講義	2	後期	経							2023/10/18	2023/11/1	経営
13	専門特講(商業簿記2級セミナー)	青木 孝暢	継続	1	全	×	経営	講義	2	後期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>	2023/10/18	2023/11/1	経営
14	専門特講(商業簿記3級セミナー)	藤浪 英也	継続	1	全	×	経営	講義	2	前期	経							2023/10/18	2023/11/1	経営
15	専門特講(工業簿記2級セミナー)	山田 覚	継続	1	全	×	経営	講義	2	後期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>	2023/10/18	2023/11/1	経営
16	専門特講(ゲーム理論Ⅰ)	八尾 政行	継続	1	全	×	経営	講義	2	前期	経						2023責任コマ確認	2023/10/18	2023/11/1	経営
17	専門特講(ゲーム理論Ⅱ)	八尾 政行	継続	1	全	×	経営	講義	2	後期	経						2023責任コマ確認	2023/10/18	2023/11/1	経営
18	専門特講(国際連合と日本)	山崎 純	継続	1	全	×	経営	講義	2	後期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>	2023/10/18	2023/11/1	経営
19	専門特講(情報キャッチボール技術)	下村 健一	継続	1	全	×	経営	講義	2	前期/後期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>	2023/10/18	2023/11/1	経営
20	専門特講(ITパスポート資格講座)	情報担当教員	継続	1	全	×	経営	演習	2	前期/後期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>	2023/10/18	2023/11/1	経営
21	専門特講(MOS検定対策講座)	情報担当教員	継続	1	全	×	経営	演習	2	前期/後期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>	2023/10/18	2023/11/1	経営
22	専門特講(情報処理資格講座)	情報担当教員	継続	1	全	×	経営	演習	2	前期/後期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>	2023/10/18	2023/11/1	経営
23	専門特講(スポーツ組織論)	岩渕 健輔	継続	1	全	×	経営	講義	2	前期/後期	経	法	児童	スポ	英語	心理	<2023他学部等科目>	2023/10/18	2023/11/1	経営
24	教養特講(生活のためのお金の知識講座)	イオンフィナンシャルサービス㈱	新規	1	全	×	経営	講義	2	前期	経	法	児童	スポ	英語	心理	2023.12.13新規追加	2023/12/13	2024/1/17	経営
25	教養特講(データサイエンス基礎)	佐藤伸也/ 高島幸成	新規	1	全	×	経営	演習	2	前期	経	法	児童	スポ	英語	心理	2023.12.13新規追加・2クラス開講	2023/12/13	2024/1/17	経営
26	専門特講(プログラミング基礎)	古瀬 一隆	新規	1	全	×	経営	演習	2	前期	経						2023.12.13新規追加	2023/12/13	2024/1/17	経営
27	専門特講(コンピューターシステム論)	高島 幸成	新規	1	全	×	経営	講義	2	前期	経						2023.12.13新規追加	2023/12/13	2024/1/17	経営

別表第2 授業科目表（第3条関係）
経営学部 経営学科 2024年度入学者～

I 群／導入教育科目（必修）

I 群／導入教育科目から2単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
基礎ゼミナール	2	1～	講義	15	・必修科目 ・原則として1年次に履修すること。

II 群／教養必修科目〈第一外国語（必修）〉〈第二外国語（選択必修）〉

II 群／教養必修科目〈第一外国語〉から6単位修得すること

II 群／教養必修科目〈第二外国語〉から同一言語を4単位以上修得すること

※〈第二外国語〉から同一言語4単位のほかに、別の言語を履修し、修得した単位は〔III群／教養選択科目〕に算入する。

〈第一外国語〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
Reading I A	1	1～	演習	30	・必修科目 ・原則として1年次に履修する。 ※留学生は履修できない。
Reading I B	1	1～	演習	30	
Oral I A	1	1～	演習	30	
Oral I B	1	1～	演習	30	
Oral II A	1	2～	演習	30	・必修科目 ・原則として2年次に履修する。 ※留学生は履修できない。
Oral II B	1	2～	演習	30	
日本語 I A	1	1～	演習	30	・留学生必修科目 ・原則として1年次に履修する。
日本語 I B	1	1～	演習	30	
日本語 II A	1	1～	演習	30	
日本語 II B	1	1～	演習	30	
日本語 III A	1	2～	演習	30	・留学生必修科目 ・原則として2年次に履修する。
日本語 III B	1	2～	演習	30	
〈第二外国語〉					
英語 I A	2	1～	演習	30	・選択必修科目 ・原則として1年次に、同一言語のA及びBを履修する。 ・英語 I A・I Bは留学生用科目 ・留学生は母国語を履修できない。
英語 I B	2	1～	演習	30	
ドイツ語 I A	2	1～	演習	30	
ドイツ語 I B	2	1～	演習	30	
フランス語 I A	2	1～	演習	30	
フランス語 I B	2	1～	演習	30	
スペイン語 I A	2	1～	演習	30	
スペイン語 I B	2	1～	演習	30	
中国語 I A	2	1～	演習	30	
中国語 I B	2	1～	演習	30	
留学準備英語 A	2	1～	演習	30	
留学準備英語 B	2	1～	演習	30	
韓国語 I A	2	1～	演習	30	
韓国語 I B	2	1～	演習	30	

※備考
・留学生は「Reading I A」「Reading I B」の代わりに「日本語 I A」「日本語 I B」を、「Oral I A」「Oral I B」の代わりに「日本語 II A」「日本語 II B」を、「Oral II A」「Oral II B」の代わりに「日本語 III A」「日本語 III B」を履修すること。
・教職課程に登録する留学生については「Oral I A」「Oral I B」の履修を認めることがある。

III 群／教養選択科目〈外国語科目〉〈教養科目〉

III 群／教養選択科目〈外国語科目〉〈教養科目〉から20単位以上修得すること

※卒業所要単位を超えて修得した単位は〔自由選択科目〕に算入する。

〈外国語科目〉 ※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修 年次	授業 方法	1単位 時間数	※コース推奨科目					履修上の注意	開設学部・専攻
					企	情	会	メ	BC		
基礎英語 A	1	1～	演習	30							大学共通開設
基礎英語 B	1	1～	演習	30							大学共通開設
Writing I A	1	1～	演習	30					●		大学共通開設
Writing I B	1	1～	演習	30					●		大学共通開設
Vocabulary A	1	1～	演習	30					●		経営学部・教育学部共通開設
Vocabulary B	1	1～	演習	30					●		経営学部・教育学部共通開設

WritingⅡ A	1	2～	演習	30					●		大学共通開設
WritingⅡ B	1	2～	演習	30					●		大学共通開設
ReadingⅡ A	1	2～	演習	30					●		経営学部・教育学部共通開設
ReadingⅡ B	1	2～	演習	30					●		経営学部・教育学部共通開設
TOEICⅠ A	1	2～	演習	30					●		経営学部・法学部共通開設 ※法学部科目名称「英語演習（TOEIC）Ⅰ A」
TOEICⅠ B	1	2～	演習	30					●		経営学部・法学部共通開設 ※法学部科目名称「英語演習（TOEIC）Ⅰ B」
TOEICⅡ A	1	3～	演習	30					●		経営学部・法学部共通開設 ※法学部科目名称「英語演習（TOEIC）Ⅱ A」
TOEICⅡ B	1	3～	演習	30					●		経営学部・法学部共通開設 ※法学部科目名称「英語演習（TOEIC）Ⅱ B」
OralⅢ A	1	3～	演習	30					●		経営学部
OralⅢ B	1	3～	演習	30					●		経営学部
ドイツ語Ⅱ A	1	2～	演習	30						・留学生は母国語を履修できない。	大学共通開設
ドイツ語Ⅱ B	1	2～	演習	30							大学共通開設
フランス語Ⅱ A	1	2～	演習	30							大学共通開設
フランス語Ⅱ B	1	2～	演習	30							大学共通開設
スペイン語Ⅱ A	1	2～	演習	30							大学共通開設
スペイン語Ⅱ B	1	2～	演習	30							大学共通開設
中国語Ⅱ A	1	2～	演習	30							大学共通開設
中国語Ⅱ B	1	2～	演習	30							大学共通開設
韓国語Ⅱ A	1	2～	演習	30							大学共通開設
韓国語Ⅱ B	1	2～	演習	30							大学共通開設
ドイツ語Ⅲ A	1	2～	演習	30							大学共通開設
ドイツ語Ⅲ B	1	2～	演習	30							大学共通開設
フランス語Ⅲ A	1	2～	演習	30							大学共通開設
フランス語Ⅲ B	1	2～	演習	30							大学共通開設
スペイン語Ⅲ A	1	2～	演習	30							大学共通開設
スペイン語Ⅲ B	1	2～	演習	30							大学共通開設
中国語Ⅲ A	1	2～	演習	30						大学共通開設	
中国語Ⅲ B	1	2～	演習	30						大学共通開設	
韓国語Ⅲ A	1	2～	演習	30						大学共通開設	
韓国語Ⅲ B	1	2～	演習	30						大学共通開設	
〈教養科目〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	※コース推奨科目 企情会メBC					履修上の注意	開設学部・専攻
歴史学A	2	1～	講義	15							大学共通開設
歴史学B	2	1～	講義	15							大学共通開設
日本史概論	2	1～	講義	15							大学共通開設
外国史概論	2	1～	講義	15							大学共通開設
地理学A	2	1～	講義	15							大学共通開設
地理学B	2	1～	講義	15							大学共通開設
地理学概論(地誌を含む)	2	1～	講義	15							経営学部
倫理学A	2	1～	講義	15							大学共通開設
倫理学B	2	1～	講義	15							大学共通開設
倫理学概論	2	1～	講義	15							経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
哲学A	2	1～	講義	15							大学共通開設
哲学B	2	1～	講義	15							大学共通開設
哲学概論	2	1～	講義	15							経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
文学A	2	1～	講義	15							大学共通開設
文学B	2	1～	講義	15							大学共通開設
論理学A	2	1～	講義	15		●		●			経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
論理学B	2	1～	講義	15		●		●			経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
国語表現法A	2	1～	講義	15				●			大学共通開設
国語表現法B	2	1～	講義	15				●			大学共通開設
美学A	2	1～	講義	15				●			大学共通開設
美学B	2	1～	講義	15				●			大学共通開設
比較文化論A	2	1～	講義	15					●		大学共通開設

比較文化論B	2	1～	講義	15					●		大学共通開設
文化人類学A	2	1～	講義	15				●	●		大学共通開設
文化人類学B	2	1～	講義	15				●	●		大学共通開設
社会学A	2	1～	講義	15							経営学部
社会学B	2	1～	講義	15							経営学部
法学A(国際法を含む)	2	1～	講義	15							経営学部
法学B(国際法を含む)	2	1～	講義	15							経営学部
統計学A	2	1～	講義	15	●	●		●	●		大学共通開設
統計学B	2	1～	講義	15	●	●		●	●		大学共通開設
心理学A	2	1～	講義	15				●			大学共通開設
心理学B	2	1～	講義	15				●			大学共通開設
社会心理学A	2	1～	講義	15				●			大学共通開設
社会心理学B	2	1～	講義	15				●			大学共通開設
政治学A(国際政治を含む)	2	1～	講義	15							経営学部
政治学B(国際政治を含む)	2	1～	講義	15							経営学部
情報社会科学A	2	1～	講義	15		●					大学共通開設
情報社会科学B	2	1～	講義	15		●					大学共通開設
教育学A	2	1～	講義	15							経営学部・法学部共通開設
教育学B	2	1～	講義	15							経営学部・法学部共通開設
環境科学A	2	1～	講義	15							大学共通開設
環境科学B	2	1～	講義	15							大学共通開設
代数学	2	1～	講義	15		●					大学共通開設
解析学	2	1～	講義	15		●					大学共通開設
数学概論A	2	1～	講義	15		●					大学共通開設
数学概論B	2	1～	講義	15		●					大学共通開設
物理学A	2	1～	講義	15		●					大学共通開設
物理学B	2	1～	講義	15		●					大学共通開設
化学A	2	1～	講義	15							大学共通開設
化学B	2	1～	講義	15							大学共通開設
生物学A	2	1～	講義	15							大学共通開設
生物学B	2	1～	講義	15							大学共通開設
科学史A	2	1～	講義	15		●					大学共通開設
科学史B	2	1～	講義	15		●					大学共通開設
スポーツ演習A	1	1～	実技	30							経営学部・法学部共通開設
スポーツ演習B	1	1～	実技	30							経営学部・法学部共通開設
健康と運動の科学	2	1～	講義	15							大学共通開設
マナーの基本	2	1～	講義	15	●						経営学部
キャリアデザインⅠ(入門)	2	1～	講義	15	●	●	●	●	●		経営学部
キャリアデザインⅡ(基礎)	2	1～	講義	15	●	●	●	●	●		大学共通開設 ※法学部・教育学部科目名称 「キャリアデザイン」
コミュニケーション能力を磨こう	2	1～	講義	15							経営学部・教育学部共通開設
日本事情A(社会・経済)	2	1～	講義	15						・留学生のみ履修できる科目	経営学部・法学部共通開設
日本事情B(歴史・政治)	2	1～	講義	15							経営学部・法学部共通開設
日本事情C(文化・文学)	2	1～	講義	15							経営学部・法学部共通開設
日本事情D(生活・風物)	2	1～	講義	15							経営学部・法学部共通開設
教養ゼミナールⅠ－1	2	2～	演習	15						・同一教員のゼミナールをⅠ-1、Ⅰ-2、Ⅱ-1、Ⅱ-2の順に、4セメスター連続で履修することを原則とする。 ・履修の方法の詳細は履修要綱、説明会で確認すること。	経営学部
教養ゼミナールⅠ－2	2	2～	演習	15							経営学部
教養ゼミナールⅡ－1	2	3～	演習	15							経営学部
教養ゼミナールⅡ－2	2	3～	演習	15							経営学部
教養特講	2	1～	講義又は演習	15						・（ ）の内容が異なる場合は複数履修可	大学共通開設

Ⅳ群／専門必修科目

Ⅳ群／専門必修科目から 1 6 単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
経営学	4	1～	講義	15	・ 必修科目 ・ 原則として1年次に履修する。
経営情報科学Ⅰ	2	1～	講義	15	
経営情報科学Ⅱ	2	1～	講義	15	
会計学	4	1～	講義	15	
国際経営論	4	1～	講義	15	

Ⅴ群／専門選択科目

Ⅴ群／専門選択科目から 5 8 単位以上修得すること

※卒業所要単位を超えて修得した単位は〔自由選択科目〕に算入する。

〈経営学〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修年次	推奨履修年次	授業方法	1単位時間数	※コース推奨科目					履修上の注意
						企	情	会	メ	BC	
経営組織論	4	1～	2～	講義	15	●					
経営戦略論	4	1～	2～	講義	15	●					
経営学史	2	1～	2～	講義	15	●					
経営史Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●					
経営史Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●					
日本経営史Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●					
日本経営史Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●					
ベンチャービジネス論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●					
ベンチャービジネス論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●					
創造都市論	2	1～	2～	講義	15	●	●				
新産業創造論	2	1～	2～	講義	15	●	●				
企業ネットワーク論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●					
企業ネットワーク論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●					
企業論	2	1～	2～	講義	15	●					
公益事業論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●					
公益事業論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●					
交通論	4	1～	2～	講義	15	●					
経営管理論	4	1～	2～	講義	15	●					
人材マネジメント論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●					
人材マネジメント論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●					
財務管理論	4	1～	2～	講義	15	●	●				
管理工学Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●					
管理工学Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●					
インターネット起業論	2	1～	2～	講義	15	●					
マネジメント コミュニケーション	2	1～	2～	講義	15	●				●	
NPO論	2	1～	2～	講義	15	●					
〈経営情報論〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修年次	推奨履修年次	授業方法	1単位時間数	※コース推奨科目					履修上の注意
						企	情	会	メ	BC	
WebプログラミングⅠ	2	1～	2～	演習	15		●		●		
WebプログラミングⅡ	2	1～	2～	演習	15		●		●		
プログラミング言語論	2	1～	3～	講義	15		●		●		
マルチメディア論Ⅰ	2	1～	2～	演習	15		●		●		
マルチメディア論Ⅱ	2	1～	2～	演習	15		●		●		
アルゴリズム論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15		●		●		
アルゴリズム論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15		●		●		
情報処理演習Ⅰ	2	1～	2～	演習	15		●				
情報処理演習Ⅱ	2	1～	2～	演習	15		●				
データ分析法Ⅰ	2	1～	2～	演習	15	●	●				
データ分析法Ⅱ	2	1～	2～	演習	15	●	●				
データサイエンスⅠ	2	1～	2～	演習	15		●				
データサイエンスⅡ	2	1～	2～	演習	15		●				
経営・経済データ統計Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●	●				
経営・経済データ統計Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●	●				
情報セキュリティ	2	1～	3～	演習	15		●				

決定の科学Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●	●				
決定の科学Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●	●				
情報通信システム論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15		●				
情報通信システム論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15		●				
情報ネットワーク論	2	1～	2～	講義	15		●				
データベース論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15		●				
データベース論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15		●				
人工知能	2	1～	2～	演習	15		●				
ディープラーニング	2	1～	2～	演習	15		●				
〈会計学〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修 年次	推奨履 修年次	授業 方法	1単位 時間数	※コース推奨科目					履修上の注意
						企	情	会	メ	BC	
簿記論	4	1～		講義	15	●	●	●		●	
中級簿記論	4	1～	2～	講義	15	●		●			
財務会計論	4	1～	2～	講義	15			●			
工業簿記論	4	1～	2～	講義	15			●			
管理会計論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15			●			
管理会計論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15			●			
原価計算論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15			●			
原価計算論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15			●			
高等簿記論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15			●			
高等簿記論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15			●			
経営分析論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15			●			
経営分析論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15			●			
税務会計論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15			●			
税務会計論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15			●			
会計情報システム論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15			●			
会計情報システム論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15			●			
国際会計論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15			●			
国際会計論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15			●			
連結会計論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15			●			
連結会計論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15			●			
〈商学〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修 年次	推奨履 修年次	授業 方法	1単位 時間数	※コース推奨科目					履修上の注意
						企	情	会	メ	BC	
商学総論Ⅰ	2	1～		講義	15	●					
商学総論Ⅱ	2	1～		講義	15	●					
広告論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●	●		●		
広告論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●	●		●		
流通論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●			●		
流通論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●			●		
マーケティングⅠ	2	1～		講義	15	●	●		●	●	
マーケティングⅡ	2	1～		講義	15	●	●		●	●	
銀行論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●					
銀行論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●					
金融論	2	1～	2～	講義	15	●					
AⅠとフィンテック	2	1～	2～	講義	15	●					
保険論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●					
保険論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●					
商業概論	2	1～		講義	15	●	●	●			
〈経済学〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修 年次	推奨履 修年次	授業 方法	1単位 時間数	※コース推奨科目					履修上の注意
						企	情	会	メ	BC	
ミクロ経済学Ⅰ(国際経済を含む)	2	1～	2～	講義	15	●	●			●	
ミクロ経済学Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●	●			●	
マクロ経済学Ⅰ(国際経済を含む)	2	1～	2～	講義	15	●				●	
マクロ経済学Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●				●	
財政学Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●					
財政学Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●					
現代日本経済論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15	●					
現代日本経済論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15	●					

地域経済論Ⅰ	2	1～	3～	講義	15	●						
地域経済論Ⅱ	2	1～	3～	講義	15	●						
経済地理学	2	1～		講義	15	●					●	
経済と現代社会	2	1～		講義	15	●						
産業と現代社会	2	1～		講義	15	●						
金融政策	2	1～	2～	講義	15	●						
情報社会経済論Ⅰ	2	1～		講義	15	●	●			●		
情報社会経済論Ⅱ	2	1～		講義	15	●	●			●		
〈国際経営〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション												
科目名	単位数	履修 年次	推奨履 修年次	授業 方法	1単位 時間数	※コース推奨科目					履修上の注意	
						企	情	会	メ	BC		
国際関係概論	2	1～	2～	講義	15					●	・地域が異なる場合は複数履修可	
国際関係論	2	1～	2～	講義	15					●		
国際金融論	2	1～	2～	講義	15					●		
国際地域マネジメント	2	1～	2～	講義	15	●				●		
多国籍企業論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●				●		
多国籍企業論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●				●		
貿易商務論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15					●		
貿易商務論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15					●		
国際ビジネス英語Ⅰ	2	1～	2～	講義	15					●		
国際ビジネス英語Ⅱ	2	1～	2～	講義	15					●		
時事英語Ⅰ	2	1～	2～	講義	15					●		
時事英語Ⅱ	2	1～	2～	講義	15					●		
経済英語Ⅰ	2	1～	2～	講義	15					●		
経済英語Ⅱ	2	1～	2～	講義	15					●		
異文化間コミュニケーション	2	1～	2～	講義	15				●	●		
異文化理解	2	1～	2～	講義	15					●		
外書講読Ⅰ	2	1～	2～	講義	15	●				●	・教員が異なる場合は複数履修可	
外書講読Ⅱ	2	1～	2～	講義	15	●				●		
〈法学〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション												
科目名	単位数	履修 年次	推奨履 修年次	授業 方法	1単位 時間数	※コース推奨科目					履修上の注意	
						企	情	会	メ	BC		
日本国憲法	2	1～		講義	15							
民法Ⅰ	2	1～		講義	15							
民法Ⅱ	2	1～		講義	15							
商法Ⅰ	2	1～		講義	15	●						
商法Ⅱ	2	1～		講義	15	●						
税法Ⅰ	2	1～		講義	15							
税法Ⅱ	2	1～		講義	15							
会社法Ⅰ	2	1～		講義	15	●						
会社法Ⅱ	2	1～		講義	15	●						
経済法	2	1～		講義	15	●						
〈メディア〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション												
科目名	単位数	履修 年次	推奨履 修年次	授業 方法	1単位 時間数	コース推奨科目					履修上の注意	
						企	情	会	メ	BC		
メディアリテラシーⅠ	2	1～		講義	15		●		●			
メディアリテラシーⅡ	2	1～		講義	15		●		●			
マスコミュニケーション論	2	1～		講義	15				●			
メディアと倫理	2	1～	3～	講義	15				●			
ジャーナリズム論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15				●			
ジャーナリズム論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15				●			
メディア論	2	1～	2～	講義	15		●		●			
エンタテインメント構造論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15				●			
エンタテインメント構造論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15				●			
アニメプロデュース論	2	1～		講義	15				●			
アニメーション制作演習Ⅰ	2	2～		演習	15				●			
アニメーション制作演習Ⅱ	2	2～		演習	15				●			
キャラクターデザイン演習Ⅰ	2	2～		演習	15				●			
キャラクターデザイン演習Ⅱ	2	2～		演習	15				●			
グラフィックデザイン演習Ⅰ	2	2～		演習	15				●			
グラフィックデザイン演習Ⅱ	2	2～		演習	15				●			

ファブ리케이션演習Ⅰ	2	2～		演習	15				●		
ファブ리케이션演習Ⅱ	2	2～		演習	15				●		
グラフィックアプリケーション演習Ⅰ	2	2～		演習	15				●		
グラフィックアプリケーション演習Ⅰ	2	2～		演習	15				●		
デザイン概論Ⅰ	2	2～		講義	15				●		
デザイン概論Ⅱ	2	2～		講義	15				●		
地域メディア制作演習Ⅰ	2	2～		演習	15				●		
地域メディア制作演習Ⅱ	2	2～		演習	15				●		
テレビ番組制作演習Ⅰ	2	2～		演習	15				●		
テレビ番組制作演習Ⅱ	2	2～		演習	15				●		
情報番組制作演習	2	2～		演習	15				●		
広告制作演習Ⅰ	2	2～		演習	15				●		
広告制作演習Ⅱ	2	2～		演習	15				●		
アナウンス演習Ⅰ	2	2～		演習	15				●		
アナウンス演習Ⅱ	2	2～		演習	15				●		
〈国際観光〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修年次	推奨履修年次	授業方法	1単位時間数	※コース推奨科目					履修上の注意
						企	情	会	メ	BC	
観光ビジネス概論	2	1～	2～	講義	15					●	・ 同一教員のゼミナールをⅠ-1、Ⅰ-2、Ⅱ-1、Ⅱ-2の順に、4セメスター連続で履修することを原則とする。 ・ 履修の方法の詳細は履修要綱、説明会で確認すること。
旅行業務論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15					●	
旅行業務論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15					●	
旅行業務論Ⅲ	2	1～	2～	講義	15					●	
観光英語	2	1～	2～	講義	15					●	
エコツアーリズム	2	1～	2～	講義	15					●	
ホスピタリティ論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15					●	
ホスピタリティ論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15					●	
ホスピタリティ論Ⅲ	2	1～	2～	講義	15					●	
サービス実務論Ⅰ	2	1～	2～	講義	15					●	
サービス実務論Ⅱ	2	1～	2～	講義	15					●	
〈ゼミナール〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修年次	推奨履修年次	授業方法	1単位時間数	※コース推奨科目					履修上の注意
						企	情	会	メ	BC	
ゼミナールⅠ－1	2	2～		演習	15	●	●	●	●	●	・ 同一教員のゼミナールをⅠ-1、Ⅰ-2、Ⅱ-1、Ⅱ-2の順に、4セメスター連続で履修することを原則とする。 ・ 履修の方法の詳細は履修要綱、説明会で確認すること。
ゼミナールⅠ－2	2	2～		演習	15	●	●	●	●	●	
ゼミナールⅡ－1	2	3～		演習	15	●	●	●	●	●	
ゼミナールⅡ－2	2	3～		演習	15	●	●	●	●	●	
〈キャリア〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修年次	推奨履修年次	授業方法	1単位時間数	※コース推奨科目					履修上の注意
						企	情	会	メ	BC	
現代企業行動論	2	1～	2～	講義	15	●	●	●	●	●	・ インターンシップⅠの単位修得者のみ履修可 ・ 実働日数10日以上 ・ 履修の方法の詳細は履修要綱、履修の手引きで確認すること。
ビジネスマナーⅠ	2	1～	2～	講義	15	●				●	
ビジネスマナーⅡ	2	1～	2～	講義	15	●				●	
キャリアデザインⅢ(実践)	2	1～	3～	講義	15	●	●	●	●	●	
キャリアデザインⅣ(演習)	2	1～	2～	演習	15	●	●	●	●	●	
インターンシップⅠ	2	1～	2～	講義	15	●	●	●	●	●	
インターンシップⅡ	2	1～	2～	実習	30	●	●	●	●	●	
インターンシップⅢ	1	1～	2～	実習	30	●	●	●	●	●	・ インターンシップⅠの単位修得者のみ履修可 ・ 実働日数5日以上10日未満 ・ 履修の方法の詳細は履修要綱、履修の手引きで確認すること。
〈特講〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	1単位時間数	※コース推奨科目					履修上の注意
						企	情	会	メ	BC	
専門特講	2	1～		講義又は演習	15						()の内容が異なる場合は複数履修可
〈海外留学〉※コース・・・企：企業経営、情：経営情報、会：企業会計、メ：メディア、BC：ビジネスコミュニケーション											
科目名	単位数	履修年次	推奨履修年次	授業方法	1単位時間数	※コース推奨科目					履修上の注意
						企	情	会	メ	BC	
海外留学事前指導	2	2～		講義	15					●	・ 履修の方法の詳細は履修要綱、説明会で確認すること。
海外留学Ⅰ	2	2～		演習	30					●	
海外留学Ⅱ	2	2～		演習	30					●	
海外留学Ⅲ	2	2～		演習	30					●	
海外留学Ⅳ	4	2～		演習	30					●	
海外留学Ⅴ	4	2～		演習	30					●	

自由選択科目

自由選択科目として 1 8 単位以上修得すること

自由選択科目には、Ⅲ群・Ⅴ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び他学部履修で修得した単位を充てることができる。

教職課程科目

卒業所要単位外科目

教職課程登録者のみが履修できる。

該当免許の関係科目のみを履修すること。

教職免許状取得のための履修については、別表第 4 を参照のこと。

＜教育の基礎的理解に関する科目等＞

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
教育基礎論	2	1～	講義	15		大学共通開設
教師論	2	1～	講義	15		大学共通開設
教育制度論	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育心理学	2	1～	講義	15		大学共通開設
特別支援教育	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育課程論	2	1～	講義	15		大学共通開設
道德教育の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
総合的な学習の時間の理論と方法	2	3～	講義	15		大学共通開設
特別活動の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育方法・技術論	2	1～	講義	15		大学共通開設
I C T 活用の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
生徒・進路指導の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育相談の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育実習の事前事後指導 S	1	3～	講義	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅰ	4	3～	実習	30	・履修年次は4年	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅱ	2	3～	実習	30	・履修年次は4年	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅲ	2	3～	実習	30	・履修年次は4年	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
教職実践演習（中・高）	2	4	演習	15	・教育実習を修了していないと履修できない。	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設

＜教科及び教科の指導法に関する科目のうち、教科に関する専門的事項＞

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
職業指導	4	3～	講義	15	・高一種（商業）免許登録者のみ履修可能	経営学部

＜教科及び教科の指導法に関する科目のうち、各教科の指導法＞

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
社会科教育法Ⅰ	2	2～	講義	15	・履修年次は3年	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
社会科教育法Ⅱ	2	2～	講義	15	・履修年次は3年	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
社会科教育法Ⅲ	2	2～	講義	15	・履修年次は3年	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
社会科・公民科教育法	2	2～	講義	15	・履修年次は3年	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
公民科教育法	2	2～	講義	15	・履修年次は3年	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
商業科教育法Ⅰ	2	3～	講義	15		経営学部
商業科教育法Ⅱ	2	3～	講義	15		経営学部

学校図書館司書教諭科目

卒業所要単位外科目

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
学校経営と学校図書館	2	2～	講義	15		大学共通開設
学校図書館メディアの構成	2	2～	講義	15		大学共通開設
読書と豊かな人間性	2	2～	講義	15		大学共通開設
学習指導と学校図書館	2	2～	講義	15		大学共通開設
情報メディアの活用	2	2～	講義	15		大学共通開設

国際交流センター科目

卒業所要単位外科目

協定校留学生のみが履修できる。

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
日本語中級A	1	1～	演習	30		
日本語中級B	1	1～	演習	30		
日本語中級C	1	1～	演習	30		
日本語中級D	1	1～	演習	30		
日本の生活A	2	1～	講義	15		
日本の生活B	2	1～	演習	15		

別表第2 授業科目表（第3条関係）
法学部 法律学科 2024年度入学者～

I 群／教養必修科目〈第一外国語(必修)〉 〈第二外国語(選択必修)〉

- I 群／教養必修科目〈第一外国語〉から6単位修得すること
- I 群／教養必修科目〈第二外国語〉から同一言語を4単位以上修得すること
- ※〈第二外国語〉から同一言語4単位のほかに、別の言語を履修し修得した単位は、
〔II群／教養選択科目〕に算入する。

〈第一外国語〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
Reading I A	1	1～	演習	30	・ 1 年次必修科目 ※留学生は履修できない。
Reading I B	1	1～	演習	30	
Oral I A	1	1～	演習	30	
Oral I B	1	1～	演習	30	
総合英語 A	1	2～	演習	30	・ 2年次必修科目 ※留学生は履修できない。
総合英語 B	1	2～	演習	30	
日本語 I A	1	1～	演習	30	・ 留学生 1 年次必修科目
日本語 I B	1	1～	演習	30	
日本語 II A	1	1～	演習	30	
日本語 II B	1	1～	演習	30	
日本語 III A	1	2～	演習	30	・ 留学生 2 年次必修科目
日本語 III B	1	2～	演習	30	
〈第二外国語〉					
英語 I A	2	1～	演習	30	・ 1 年次選択必修科目 ・ 同一言語の I A ・ I B を履修することを原則とする。 ・ 英語 I A ・ I B は留学生用科目 ・ 留学生は母国語を履修できない。
英語 I B	2	1～	演習	30	
ドイツ語 I A	2	1～	演習	30	
ドイツ語 I B	2	1～	演習	30	
フランス語 I A	2	1～	演習	30	
フランス語 I B	2	1～	演習	30	
スペイン語 I A	2	1～	演習	30	
スペイン語 I B	2	1～	演習	30	
中国語 I A	2	1～	演習	30	
中国語 I B	2	1～	演習	30	

- ※備考
- ・教職課程に登録する留学生については、「Oral I A」「Oral I B」の履修を認めることがある。

II 群／教養選択科目

- II 群／教養選択科目から18単位以上修得すること
- ※18単位を超えて修得した単位は〔自主選択科目〕に算入する。

〈外国語科目〉						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
基礎英語 A	1	1～	演習	30		大学共通開設
基礎英語 B	1	1～	演習	30		大学共通開設
Writing I A	1	1～	演習	30		大学共通開設
Writing I B	1	1～	演習	30		大学共通開設
Writing II A	1	2～	演習	30		大学共通開設
Writing II B	1	2～	演習	30		大学共通開設
英語演習 (TOEIC) I A	1	2～	演習	30		経営学部・法学部共通開設 ※経営学部科目名称「TOEIC I A」
英語演習 (TOEIC) I B	1	2～	演習	30		経営学部・法学部共通開設 ※経営学部科目名称「TOEIC I B」
英語演習 (TOEIC) II A	1	3～	演習	30		経営学部・法学部共通開設 ※経営学部科目名称「TOEIC II A」
英語演習 (TOEIC) II B	1	3～	演習	30		経営学部・法学部共通開設 ※経営学部科目名称「TOEIC II B」

韓国語ⅠA	2	1～	演習	30	・留学生は母国語を履修できない。	大学共通開設
韓国語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅢA	1	2～	演習	30	大学共通開設	
韓国語ⅢB	1	2～	演習	30	大学共通開設	
総合英語A	1	2～	演習	30	・留学生のみ履修可能	法学部
総合英語B	1	2～	演習	30		法学部
〈一般教養科目〉						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
歴史学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
歴史学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
日本史概論	2	1～	講義	15		大学共通開設
外国史概論	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学概論(地誌を含む)	2	1～	講義	15		法学部
倫理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
倫理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
倫理学概論	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
哲学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
哲学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
哲学概論	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
文学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
文学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
論理学A	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
論理学B	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
国語表現法A	2	1～	講義	15		大学共通開設
国語表現法B	2	1～	講義	15		大学共通開設
美学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
美学B	2	1～	講義	15		大学共通開設

比較文化論 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
比較文化論 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
文化人類学 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
文化人類学 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会学 A	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
社会学 B	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
統計学 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
統計学 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
心理学 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
心理学 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会心理学 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会心理学 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
政治学 A (国際政治を含む)	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
政治学 B (国際政治を含む)	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
情報社会科学 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
情報社会科学 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
教育学 A	2	1～	講義	15		経営学部・法学部共通開設
教育学 B	2	1～	講義	15		経営学部・法学部共通開設
環境科学 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
環境科学 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
代数学	2	1～	講義	15		大学共通開設
解析学	2	1～	講義	15		大学共通開設
数学概論 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
数学概論 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
物理学 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
物理学 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
化学 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
化学 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
生物学 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
生物学 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
科学史 A	2	1～	講義	15		大学共通開設
科学史 B	2	1～	講義	15		大学共通開設
情報リテラシー	2	1～	演習	15		法学部
スポーツ演習 A	1	1～	実技	30		経営学部・法学部共通開設
スポーツ演習 B	1	1～	実技	30		経営学部・法学部共通開設
健康と運動の科学	2	1～	講義	15		大学共通開設
教養特講	2	1～	講義又は演習	15	・ () の内容が異なる場合は複数履修可 ・ 科目により随意科目としてカウントされる場合がある。	大学共通開設
キャリアデザイン	2	1～	講義	15		大学共通開設 ※経営学部科目名称「キャリアデザインⅡ（基礎）」
日本事情 A (社会・経済)	2	1～	講義	15	・ 留学生のみ履修可能	経営学部・法学部共通開設
日本事情 B (歴史・政治)	2	1～	講義	15		経営学部・法学部共通開設
日本事情 C (文化・文学)	2	1～	講義	15		経営学部・法学部共通開設
日本事情 D (生活・風物)	2	1～	講義	15		経営学部・法学部共通開設
海外留学	1～20	2～	講義	15	・ 単位認定科目 ・ 詳細は入学年度の履修要綱で確認すること。	法学部・教育学部（英語教育専攻を除く）共通開設
			演習	30		

Ⅲ群／専門必修科目

Ⅲ群／専門必修科目から16単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
憲法Ⅰ（総論・人権）	4	1～	講義	15	・必修科目 ・原則として1年次に履修する。
民法法概論	2	1～	講義	15	・必修科目 ・原則として1年次に履修する。
民法Ⅰ（総則）	2	1～	講義	15	・必修科目 ・原則として1年次に履修する。
民法Ⅱ（物権総論）	2	2～	講義	15	・必修科目 ・原則として2年次に履修する。
民法Ⅳ（債権総論）	4	2～	講義	15	・必修科目 ・原則として2年次に履修する。
刑事法概論	2	1～	講義	15	・必修科目 ・原則として1年次に履修する。

Ⅳ群／専門選択科目

Ⅳ群／専門選択科目から56単位以上修得すること

※56単位を超えて修得した単位は〔自主選択科目〕に算入する。

〈基礎法学科目〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
法哲学	4	2～	講義	15	
法社会学	4	2～	講義	15	
日本法制史	4	2～	講義	15	
西洋法制史	4	2～	講義	15	
比較法	4	3～	講義	15	
〈公法科目〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
憲法Ⅱ（統治）	4	1～	講義	15	
行政法Ⅰ	4	2～	講義	15	
行政法Ⅱ	4	3～	講義	15	
地方自治法	4	3～	講義	15	
税法	4	2～	講義	15	
〈民事法科目〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
民法Ⅲ（担保物権）	2	2～	講義	15	
民法Ⅴ（債権各論）	4	2～	講義	15	
民法Ⅵ（親族）	2	1～	講義	15	
民法Ⅶ（相続）	2	2～	講義	15	
商法総論	2	2～	講義	15	
商取引法	2	3～	講義	15	
会社法	4	2～	講義	15	
保険法	4	3～	講義	15	
海商法	2	3～	講義	15	
支払決済法	2	3～	講義	15	
金融商品取引法	2	3～	講義	15	
民事訴訟法	4	2～	講義	15	
民事執行・保全法	2	3～	講義	15	
倒産法	4	3～	講義	15	
知的財産法	4	2～	講義	15	
〈刑事法科目〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
刑法Ⅰ（総論）	4	1～	講義	15	
刑法Ⅱ（各論）	4	2～	講義	15	
刑事訴訟法	4	2～	講義	15	
刑事政策	4	2～	講義	15	

〈社会法・経済法〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
労働法	4	3～	講義	15	
社会保障法	4	3～	講義	15	
環境法	4	3～	講義	15	
経済法	4	3～	講義	15	
〈国際関係法・外国法科目〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
国際法Ⅰ	4	2～	講義	15	
国際法Ⅱ	4	2～	講義	15	
国際組織法	4	2～	講義	15	
国際経済法	4	3～	講義	15	
国際私法	4	3～	講義	15	
英米法	4	2～	講義	15	
ドイツ法	4	2～	講義	15	
フランス法	4	2～	講義	15	
EU法	4	2～	講義	15	
中国法	4	2～	講義	15	
〈政治学関連科目〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
政治学原論	4	1～	講義	15	
政治思想史	4	1～	講義	15	
日本政治史	4	1～	講義	15	
西洋政治史	4	1～	講義	15	
政策学Ⅰ（総論）	4	2～	講義	15	
政策学Ⅱ（各論）	4	2～	講義	15	
社会政策	2	2～	講義	15	
立法学	4	2～	講義	15	
行政学	4	1～	講義	15	
地方行政論	4	2～	講義	15	
地方財政論	2	1～	講義	15	
地域福祉論	2	1～	講義	15	
地域社会論	2	1～	講義	15	
NPO論	2	1～	講義	15	
国際政治学	4	2～	講義	15	
財政学	4	1～	講義	15	
マクロ経済学(国際経済を含む)	2	1～	講義	15	
ミクロ経済学(国際経済を含む)	2	1～	講義	15	
経済政策	2	2～	講義	15	
政策分析	2	1～	演習	15	
〈ゼミナール・その他〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
専門特講Ⅰ	2	1～	講義	15	・（ ）の内容が異なる場合は複数履修可
専門特講Ⅱ	4	1～	講義	15	・（ ）の内容が異なる場合は複数履修可
専門外書講読Ⅰ	2	2～	講義	15	・担当教員が異なる場合は複数履修可
専門外書講読Ⅱ	4	2～	講義	15	・担当教員が異なる場合は複数履修可
キャリア支援講座	2	1～	講義	15	
基礎ゼミナールⅠ	2	1・2	演習	15	・担当教員が異なる場合は複数履修可
基礎ゼミナールⅡ	2	2	演習	15	・担当教員が異なる場合は複数履修可
専門ゼミナールⅠ	4	3～	演習	15	・担当教員が異なる場合は複数履修可
専門ゼミナールⅡ	4	4	演習	15	・担当教員が異なる場合は複数履修可
法職演習	2	1～	演習	15	・（ ）の内容が異なる場合は複数履修可

自主選択科目

自主選択科目として24単位以上修得すること
自主選択科目には、Ⅱ群・Ⅳ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び他学部履修で修得した単位を充てることができる。

教職課程科目

卒業所要単位外科目
教職課程登録者のみが履修できる。
該当免許の関係科目のみを履修すること。
教職免許状取得のための履修については、別表第4を参照のこと。

＜教育の基礎的理解に関する科目等＞

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
教育基礎論	2	1～	講義	15		大学共通開設
教師論	2	1～	講義	15		大学共通開設
教育制度論	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育心理学	2	1～	講義	15		大学共通開設
特別支援教育	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育課程論	2	1～	講義	15		大学共通開設
道德教育の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
総合的な学習の時間の理論と方法	2	3～	講義	15		大学共通開設
特別活動の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育方法・技術論	2	1～	講義	15		大学共通開設
I C T活用の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
生徒・進路指導の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育相談の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育実習の事前事後指導S	1	3～	講義	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅰ	4	3～	実習	30	・履修年次は4年	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅱ	2	3～	実習	30	・履修年次は4年	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅲ	2	3～	実習	30	・履修年次は4年	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
教職実践演習（中・高）	2	4	演習	15	・教育実習修了していないと履修できない。	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設

＜教科及び教科の指導法に関する科目のうち、各教科の指導法＞

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
社会科教育法Ⅰ	2	2～	講義	15	・履修年次は3年	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
社会科教育法Ⅱ	2	2～	講義	15	・履修年次は3年	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
社会科教育法Ⅲ	2	2～	講義	15	・履修年次は3年	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
社会科・公民科教育法	2	2～	講義	15	・履修年次は3年	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
公民科教育法	2	2～	講義	15	・履修年次は3年	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設

学校図書館司書教諭科目

卒業所要単位外科目

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
学校経営と学校図書館	2	1～	講義	15		大学共通開設
学校図書館メディアの構成	2	1～	講義	15		大学共通開設
読書と豊かな人間性	2	1～	講義	15		大学共通開設
学習指導と学校図書館	2	1～	講義	15		大学共通開設
情報メディアの活用	2	1～	講義	15		大学共通開設

別表第2 授業科目表（第3条関係）
教育学部 発達科学科児童教育専攻 2024年度入学者～

I 群／外国語必修科目

I 群／外国語必修科目から4単位修得すること

〈第一外国語〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
英語コミュニケーションⅠA	1	1	演習	30	・1年次必修科目
英語コミュニケーションⅠB	1	1	演習	30	
英語コミュニケーションⅡA	1	2	演習	30	・2年次必修科目
英語コミュニケーションⅡB	1	2	演習	30	

II 群／外国語・教養選択科目

II 群／外国語・教養選択科目から16単位以上修得すること

※16単位を超えて修得した単位は〔自由選択科目〕に算入する。

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
基礎英語A	1	1～	演習	30		大学共通開設
基礎英語B	1		演習	30		大学共通開設
ReadingⅠA	1	1～	演習	30		教育学部発達科学科
ReadingⅠB	1	1～	演習	30		教育学部発達科学科
ReadingⅡA	1	2～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
ReadingⅡB	1	2～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
WritingⅠA	1	1～	演習	30		大学共通開設
WritingⅠB	1	1～	演習	30		大学共通開設
WritingⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
WritingⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
VocabularyA	1	1～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
VocabularyB	1	1～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
ドイツ語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
歴史学A	2	1～	講義	15		大学共通開設

歴史学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
日本史概論	2	1～	講義	15		大学共通開設
外国史概論	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学概論(地誌を含む)	2	1～	講義	15		教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
倫理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
倫理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
倫理学概論	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
哲学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
哲学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
哲学概論	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
文学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
文学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
論理学A	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
論理学B	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
国語表現法A	2	1～	講義	15		大学共通開設
国語表現法B	2	1～	講義	15		大学共通開設
美学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
美学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
比較文化論A	2	1～	講義	15		大学共通開設
比較文化論B	2	1～	講義	15		大学共通開設
文化人類学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
文化人類学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会学A	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
社会学B	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
法学A(国際法を含む)	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
法学B(国際法を含む)	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
統計学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
統計学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
心理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
心理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会心理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会心理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
政治学A(国際政治を含む)	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
政治学B(国際政治を含む)	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
情報社会科学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
情報社会科学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
環境科学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
環境科学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
代数学	2	1～	講義	15		大学共通開設
解析学	2	1～	講義	15		大学共通開設
数学概論A	2	1～	講義	15		大学共通開設
数学概論B	2	1～	講義	15		大学共通開設
物理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
物理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
化学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
化学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
生物学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
生物学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
科学史A	2	1～	講義	15		大学共通開設
科学史B	2	1～	講義	15		大学共通開設
日本国憲法	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
健康科学	2	1～	講義	15		児童教育専攻幼児教育・保育コース
健康と運動の科学	2	1～	講義	15		大学共通開設
体育実技A	1	1～	実技	30		教育学部（スポーツ健康専攻を除く）共通開設
体育実技B	1	1～	実技	30		教育学部（スポーツ健康専攻を除く）共通開設
情報処理	2	1～	演習	15		教育学部発達科学科

マナーの基本	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
キャリアデザイン	2	1～	講義	15		大学共通開設 ※経営学部科目名称「キャリアデザインⅡ（基礎）」
コミュニケーション能力を磨こう	2	1～	講義	15		経営学部・教育学部共通開設
教養特講(講義)	2	1～	講義	15	・科目の内容が異なる場合は複数履修可	大学共通開設
教養特講(演習)	1	1～	演習	30		
海外留学	1～20	2～	講義	15	・単位認定科目 ・詳細は入学年度の履修要綱で確認すること。	法学部・教育学部（英語教育専攻を除く）共通開設
			演習	30		

Ⅲ群／専攻必修科目

Ⅲ群／専攻必修科目から1単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
フレッシュマンセミナー	1	1	演習	30	・1年次必修科目

Ⅳ群／専門選択科目

Ⅳ群／専門選択科目から74単位以上修得すること

※74単位を超えて修得した単位は〔自由選択科目〕に算入する。

＜教科・領域専門科目＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
国語概説Ⅰ（書写を含む）	2	1～	講義	15		児童教育専攻
国語概説Ⅱ（書写を含む）	2	3～	講義	15		児童教育専攻
社会科概説Ⅰ	2	1～	講義	15		児童教育専攻
社会科概説Ⅱ	2	3～	講義	15		児童教育専攻
算数概説Ⅰ	2	1～	講義	15		児童教育専攻
算数概説Ⅱ	2	3～	講義	15		児童教育専攻
理科概説Ⅰ	2	1～	講義	15		児童教育専攻
理科概説Ⅱ	2	3～	講義	15		児童教育専攻
生活科概説Ⅰ	2	1～	講義	15		児童教育専攻
生活科概説Ⅱ	2	3～	講義	15		児童教育専攻
音楽概説Ⅰ	2	1～	講義	15		児童教育専攻
音楽概説Ⅱ	2	3～	講義	15		児童教育専攻
図画工作概説Ⅰ	2	1～	講義	15		児童教育専攻
図画工作概説Ⅱ	2	3～	講義	15		児童教育専攻
家庭科概説Ⅰ	2	1～	講義	15		児童教育専攻
家庭科概説Ⅱ	2	3～	講義	15		児童教育専攻
体育概説Ⅰ	2	1～	講義	15		児童教育専攻
体育概説Ⅱ	2	3～	講義	15		児童教育専攻
小学校英語概説Ⅰ	2	1～	講義	15		児童教育専攻
小学校英語概説Ⅱ	2	3～	講義	15		児童教育専攻
ソルフェージュⅠ	1	1～	演習	30		児童教育専攻
ソルフェージュⅡ	1	1～	演習	30		児童教育専攻
音楽実技ⅠA	1	1～	演習	30		児童教育専攻
音楽実技ⅠB	1	1～	演習	30		児童教育専攻
音楽実技ⅡA	1	2～	演習	30		児童教育専攻
音楽実技ⅡB	1	2～	演習	30		児童教育専攻
造形Ⅰ	1	1～	演習	30		児童教育専攻
造形Ⅱ	1	3～	演習	30		児童教育専攻
造形教材研究	1	2～	演習	30		児童教育専攻
幼児と健康	1	2～	演習	30		児童教育専攻
幼児と人間関係	1	2～	演習	30		児童教育専攻
幼児と環境	1	2～	演習	30		児童教育専攻
幼児と言葉	1	2～	演習	30		児童教育専攻
幼児と表現	1	2～	演習	30		児童教育専攻
保育内容概説	2	2～	講義	15		児童教育専攻
保育内容特論	1	3～	演習	30	・所属コースや教職・資格課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	児童教育専攻
＜教職専門科目＞						
科目名	単位数	履修	1単位	授業	履修上の注意	開設学部・専攻

教育基礎論	2	1～	講義	15		大学共通開設
教師論	2	1～	講義	15		大学共通開設
教育制度論	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育心理学	2	1～	講義	15	・所属コースや教職・資格課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	大学共通開設
特別支援教育	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育課程論	2	1～	講義	15		大学共通開設
道德教育の理論と方法	2	2～	講義	15	・所属コースや教職・資格課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	大学共通開設
総合的な学習の時間の理論と方法	2	3～	講義	15		大学共通開設
特別活動の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育方法・技術論	2	1～	講義	15		大学共通開設
I C T活用の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
生徒・進路指導の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
幼児の理解と援助	1	2～	演習	30		児童教育専攻
教育相談の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
保育内容指導法（健康）	2	3～	講義	15		児童教育専攻
保育内容指導法（人間関係）	2	3～	講義	15		児童教育専攻
保育内容指導法（環境）	2	3～	講義	15		児童教育専攻
保育内容指導法（言葉）	2	3～	講義	15		児童教育専攻
保育内容指導法（表現①）	2	3～	講義	15		児童教育専攻
保育内容指導法（表現②）	2	3～	講義	15		児童教育専攻
保育内容指導法（表現③）	2	3～	講義	15		児童教育専攻
国語科教育法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
社会科教育法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
算数科教育法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
理科教育法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
生活科教育法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
音楽科教育法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
図画工作科教育法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
家庭科教育法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
体育科教育法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
小学校英語科教育法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
〈教科・領域・教職関連科目〉						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
教育法演習A	1	3～	演習	30		児童教育専攻
教育法演習B	1	3～	演習	30		児童教育専攻
教育法演習C	1	3～	演習	30		児童教育専攻
児童文学	2	2～	講義	15		児童教育専攻
音楽実技ⅢA	2	3～	演習	30		児童教育専攻
音楽実技ⅢB	2	4	演習	30		児童教育専攻
リトミック入門	1	2～	演習	30		児童教育専攻
リトミック応用	1	3～	演習	30		児童教育専攻
幼児教育論	2	2～	講義	15		児童教育専攻
比較教育論	2	2～	講義	15		教育学部発達科学科
人権教育	2	3～	講義	15		教育学部発達科学科
〈保育・福祉専門科目〉						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
保育原理	2	1～	講義	15		児童教育専攻
子ども家庭福祉	2	1～	講義	15		児童教育専攻
社会福祉	2	1～	講義	15		児童教育専攻
子ども家庭支援論	2	2～	講義	15		児童教育専攻
社会的養護Ⅰ	2	2～	講義	15		児童教育専攻
保育者論	2	1～	講義	15		児童教育専攻
発達心理学	2	2～	講義	15		児童教育専攻
子ども家庭支援の心理学	2	2～	講義	15		児童教育専攻
子どもの理解と援助	1	1～	演習	30		児童教育専攻
子どもの保健	2	1～	講義	15		児童教育専攻

子どもの食と栄養	2	3～	演習	30	・所属コースや教職・資格課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	児童教育専攻
保育とカリキュラム	2	3～	講義	15		児童教育専攻
保育内容総論	1	2～	演習	30		児童教育専攻
保育内容（健康）	1	2～	演習	30		児童教育専攻
保育内容（人間関係）	1	2～	演習	30		児童教育専攻
保育内容（環境）	1	2～	演習	30		児童教育専攻
保育内容（言葉）	1	2～	演習	30		児童教育専攻
保育内容（表現）	1	2～	演習	30		児童教育専攻
子どもの生活と遊び（身体表現）	1	3～	演習	30		児童教育専攻
子どもの生活と遊び（音楽表現）	1	3～	演習	30		児童教育専攻
子どもの生活と遊び（造形表現）	1	3～	演習	30		児童教育専攻
子どもの生活と遊び（児童文化）	1	3～	演習	30		児童教育専攻
乳児保育	2	2～	講義	15		児童教育専攻
乳児保育の実践	1	2～	演習	30		児童教育専攻
子どもの健康と安全	1	2～	演習	30		児童教育専攻
特別支援保育（基礎）	1	3～	演習	30		児童教育専攻
特別支援保育（展開）	1	3～	演習	30		児童教育専攻
社会的養護Ⅱ	1	3～	演習	30		児童教育専攻
地域子育て支援	1	3～	演習	30		児童教育専攻
発達の科学	2	1～	講義	15		児童教育専攻
保育臨床	1	3～	演習	30		児童教育専攻
多文化共生	1	2～	演習	30		児童教育専攻
青年心理学	2	2～	講義	15	・所属コースや教職・資格課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	児童教育専攻
保育学の研究法	2	2～	講義	15		児童教育専攻
病児病後児保育	1	3～	演習	30		児童教育専攻
楽器と演奏	1	3～	演習	30		児童教育専攻
絵本論	1	3～	演習	30		児童教育専攻
リズム遊び	1	3～	演習	30		児童教育専攻
おもちゃ論	1	3～	演習	30		児童教育専攻
社会福祉方法論	1	3～	演習	30		児童教育専攻
＜課題研究＞						
科目名		単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
ゼミナール		4	3～	演習	30	・履修の方法の詳細は、入学年度の履修要綱、説明会で確認すること。
＜学科共通科目＞						
科目名		単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
福祉とボランティア		2	1～	講義	15	
教育の倫理学		2	1～	講義	15	
レクリエーション理論		2	2～	講義	15	
レクリエーション実技		1	2～	演習	30	
レクリエーション実習		1	3～	実習	30	・レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習を履修していない場合のみ履修可。
野外運動A（キャンプ）		1	1～	演習	30	
野外運動B（雪上）		1	1～	演習	30	
救急法		2	1～	講義	15	
Teaching English to Children		2	2～	講義	15	
e-ラーニング		1	1～	演習	30	
教育情報処理		2	1～	演習	30	
社会人口学		2	1～	講義	15	
家族社会学		2	1～	講義	15	
TOEICⅠ		1	1～	演習	30	
TOEICⅡ		1	2～	演習	30	
TOEFLⅠ		1	1～	演習	30	
TOEFLⅡ		1	2～	演習	30	
Picture Books		2	1～	講義	15	

＜特講＞					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
専門特講（講義）	2	1～	講義	15	・ 科目の内容が異なる場合は複数履修可
専門特講（演習）	1	1～	演習	30	

V群／卒業研究（必修科目）

V群／卒業研究から4単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
卒業研究	4	4	演習	30	・ 履修の方法の詳細は、入学年度の履修要綱、説明会で確認すること。

自由選択科目

自由選択科目として25単位以上修得すること。

自由選択科目には、Ⅱ群・Ⅳ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び他学部履修で修得した単位を充てることができる。

実習科目＜卒業所要単位外科目＞

教職課程、保育士課程登録者のみが、該当の科目を履修することができる。

教職免許状取得のための履修については、別表第4を参照のこと。

保育士資格取得のための履修については、白鷗大学保育士資格の取得に関する規程を参照のこと。

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
教育実習の事前事後指導P	1	2～	講義	30	・ 3年次で履修	児童教育専攻
初等教育実習Ⅰ	4	3～	実習	30		児童教育専攻
初等教育実習Ⅱ	2	3～	実習	30		児童教育専攻
初等教育実習Ⅲ	2	3～	実習	30		児童教育専攻
教職実践演習（幼・小）	2	4	演習	15	・ 教育実習を修了していないと履修できない。	児童教育専攻
保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	3～	演習	30	・ 3年次で履修	児童教育専攻
保育実習指導Ⅰ（施設）	1	3～	演習	30	・ 3年次で履修	児童教育専攻
保育実習Ⅰ（保育所）	2	3～	実習	45	・ 3年次で履修	児童教育専攻
保育実習Ⅰ（施設）	2	3～	実習	45	・ 3年次で履修	児童教育専攻
保育実習指導Ⅱ	1	4	演習	30	・ 4年次で履修	児童教育専攻
保育実習Ⅱ	2	4	実習	45	・ 4年次で履修	児童教育専攻
保育実習指導Ⅲ	1	4	演習	30	・ 4年次で履修	児童教育専攻
保育実習Ⅲ	2	4	実習	45	・ 4年次で履修	児童教育専攻
保育実践演習	2	4	演習	15	・ 保育実習を修了していないと履修できない。	児童教育専攻

学校図書館司書教諭科目＜卒業所要単位外科目＞

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
学校経営と学校図書館	2	2～	講義	15		大学共通開設
学校図書館メディアの構成	2	2～	講義	15		大学共通開設
読書と豊かな人間性	2	2～	講義	15		大学共通開設
学習指導と学校図書館	2	2～	講義	15		大学共通開設
情報メディアの活用	2	2～	講義	15		大学共通開設

別表第2 授業科目表（第3条関係）
教育学部 発達科学科スポーツ健康専攻 2024年度入学者～

I 群／外国語必修科目

I 群／外国語必修科目から4単位修得すること

〈第一外国語〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
英語コミュニケーションⅠA	1	1	演習	30	・1年次必修科目
英語コミュニケーションⅠB	1	1	演習	30	
英語コミュニケーションⅡA	1	2	演習	30	・2年次必修科目
英語コミュニケーションⅡB	1	2	演習	30	

II 群／外国語・教養選択科目

II 群／外国語・教養選択科目から16単位以上修得すること

※16単位を超えて修得した単位は〔自由選択科目〕に算入する。

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
基礎英語A	1	1～	演習	30		大学共通開設
基礎英語B	1	1～	演習	30		大学共通開設
ReadingⅠA	1	1～	演習	30		教育学部発達科学科
ReadingⅠB	1	1～	演習	30		教育学部発達科学科
ReadingⅡA	1	2～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
ReadingⅡB	1	2～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
WritingⅠA	1	1～	演習	30		大学共通開設
WritingⅠB	1	1～	演習	30		大学共通開設
WritingⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
WritingⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
VocabularyA	1	1～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
VocabularyB	1	1～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
ドイツ語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
歴史学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
歴史学B	2	1～	講義	15		大学共通開設

日本史概論	2	1～	講義	15		大学共通開設
外国史概論	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学概論(地誌を含む)	2	1～	講義	15		教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
倫理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
倫理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
倫理学概論	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
哲学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
哲学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
哲学概論	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
文学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
文学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
論理学A	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
論理学B	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
国語表現法A	2	1～	講義	15		大学共通開設
国語表現法B	2	1～	講義	15		大学共通開設
美学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
美学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
比較文化論A	2	1～	講義	15		大学共通開設
比較文化論B	2	1～	講義	15		大学共通開設
文化人類学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
文化人類学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会学A	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
社会学B	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
法学A(国際法を含む)	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
法学B(国際法を含む)	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
統計学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
統計学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
心理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
心理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会心理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会心理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
政治学A(国際政治を含む)	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
政治学B(国際政治を含む)	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
情報社会科学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
情報社会科学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
環境科学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
環境科学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
代数学	2	1～	講義	15		大学共通開設
解析学	2	1～	講義	15		大学共通開設
数学概論A	2	1～	講義	15		大学共通開設
数学概論B	2	1～	講義	15		大学共通開設
物理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
物理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
化学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
化学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
生物学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
生物学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
科学史A	2	1～	講義	15		大学共通開設
科学史B	2	1～	講義	15		大学共通開設
日本国憲法	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
健康と運動の科学	2	1～	講義	15		大学共通開設
情報処理	2	1～	演習	15		教育学部発達科学科
マナーの基本	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
キャリアデザイン	2	1～	講義	15		大学共通開設 ※経営学部科目名称「キャリアデザインⅡ（基礎）」
コミュニケーション能力を磨こう	2	1～	講義	15		経営学部・教育学部共通開設
教養特講（講義）	2	1～	講義	15	・科目の内容が異なる場合は複数履修可	大学共通開設
教養特講（演習）	1	1～	演習	30		
海外留学	1～20	2～	講義	15	・単位認定科目 ・詳細は入学年度の履修要綱で確認すること。	法学部・教育学部（英語教育専攻を除く）共通開設
			演習	30		

Ⅲ群／専攻必修科目

Ⅲ群／専攻必修科目から1単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
フレッシュマンセミナー	1	1	演習	30	・1年次必修科目

Ⅳ群／専門選択科目

Ⅳ群／専門選択科目から74単位以上修得すること

※74単位を超えて修得した単位は〔自由選択科目〕に算入する。

＜教科専門科目／基礎実技＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
体づくり運動	1	2～	演習	30		スポーツ健康専攻
器械運動	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
陸上運動	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
水泳	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
ダンス	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
柔道	1	2～	演習	30		スポーツ健康専攻
剣道	1	2～	演習	30		スポーツ健康専攻
野球(ソフトボール)	1	2～	演習	30		スポーツ健康専攻
テニス	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
バレーボール	1	2～	演習	30		スポーツ健康専攻
バスケットボール	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
ラグビー	1	2～	演習	30		スポーツ健康専攻
サッカー	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
身体運動演習（器械運動）	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
身体運動演習（陸上運動）	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
身体運動演習（表現運動）	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
＜教科専門科目／基礎理論＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
体育原理	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
体育心理学	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
体育・スポーツ経営学	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツ社会学	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
運動学Ⅰ（運動方法学を含む）	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
運動学Ⅱ	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツコーチング総論	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
生理学	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
運動生理学	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
衛生・公衆衛生学	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
学校保健Ⅰ（小児保健を含む）	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
学校保健Ⅱ（学校安全及び救急処置を含む）	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
精神保健学	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
＜教科関連科目／専攻専門＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
スポーツ科学入門	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
解剖学（基礎）	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
競技スポーツ理論	2	1～	講義	15		スポーツ健康専攻
発育発達学	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
トレーニング論Ⅰ	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
トレーニング論Ⅱ	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻

スポーツ指導者論Ⅰ	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツ指導者論Ⅱ	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツ生理学	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツ医学概論	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツ産業論	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツ行政論	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツマーケティング	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
健康・スポーツの測定と評価	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツリハビリテーション論（テーピングを含む）	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
障害者スポーツ	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
運動と健康（運動処方論）	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツ栄養学	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツ指導のバイオメカニクス	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
トレーニング実習Ⅰ	1	2～	演習	30		スポーツ健康専攻
トレーニング実習Ⅱ	1	3～	演習	30		スポーツ健康専攻
ニュースポーツ	1	3～	演習	30		スポーツ健康専攻
野外運動C（アドバンス）	1	1～	演習	30		スポーツ健康専攻
スポーツ情報科学（入門）	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツ情報科学（分析）	2	2～	演習	15		スポーツ健康専攻
＜教科関連科目／実践研究＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
体育・スポーツ実践事例研究	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
スポーツ科学実験演習	1	2～	演習	30		スポーツ健康専攻
スポーツインターンシップⅠ	1	2～	演習	30		スポーツ健康専攻
スポーツインターンシップⅡ	1	2～	演習	30		スポーツ健康専攻
専門演習A1	1	3～	演習	30		スポーツ健康専攻
専門演習A2	1	3～	演習	30		スポーツ健康専攻
専門演習B1	1	3～	演習	30		スポーツ健康専攻
専門演習B2	1	3～	演習	30		スポーツ健康専攻
＜教職専門科目＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
教育基礎論	2	1～	講義	15	・教職課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	大学共通開設
教師論	2	1～	講義	15		大学共通開設
教育制度論	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育心理学	2	1～	講義	15		大学共通開設
特別支援教育	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育課程論	2	1～	講義	15		大学共通開設
道德教育の理論と方法	2	2～	講義	15	・教職課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	大学共通開設
総合的な学習の時間の理論と方法	2	3～	講義	15		大学共通開設
特別活動の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育方法・技術論	2	1～	講義	15		大学共通開設
I C T活用の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
生徒・進路指導の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育相談の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
保健体育科教育法Ⅰ	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
保健体育科教育法Ⅱ	2	2～	講義	15		スポーツ健康専攻
保健体育科教育法Ⅲ（保健）	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
保健体育科教育法Ⅳ	2	3～	講義	15		スポーツ健康専攻
比較教育論	2	2～	講義	15		教育学部発達科学科
人権教育	2	3～	講義	15		教育学部発達科学科

＜学科共通科目＞					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
福祉とボランティア	2	1～	講義	15	
教育の倫理学	2	1～	講義	15	
レクリエーション理論	2	2～	講義	15	
レクリエーション実技	1	2～	演習	30	
レクリエーション実習	1	3～	実習	30	・レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習を履修していない場合のみ履修可。
野外運動A（キャンプ）	1	1～	演習	30	
野外運動B（雪上）	1	1～	演習	30	
救急法	2	1～	講義	15	
Teaching English to Children	2	2～	講義	15	
e-ラーニング	1	1～	演習	15	
教育情報処理	2	1～	演習	15	
社会人口学	2	1～	講義	15	
家族社会学	2	1～	講義	15	
TOEIC I	1	1～	演習	30	
TOEIC II	1	2～	演習	30	
TOEFL I	1	1～	演習	30	
TOEFL II	1	2～	演習	30	
Picture Books	2	1～	講義	15	
＜特講＞					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
専門特講（講義）	2	1～	講義	15	・科目の内容が異なる場合は複数履修可
専門特講（演習）	1	1～	演習	30	

V 群／卒業研究（必修科目）

V 群／卒業研究から 4 単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
卒業研究	4	4	演習	30	・履修は専門演習で単位を修得した領域から選択することを原則とする。 ・履修の方法の詳細は、入学年度の履修要綱、説明会で確認すること。

自由選択科目

- 自由選択科目として 2 5 単位以上修得すること。
- 自由選択科目には、Ⅱ 群・Ⅳ 群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び他学部履修で修得した単位を充てることができる。

実習科目＜卒業所要単位外科目＞

- 教職課程登録者のみが履修できる。
- 該当免許の関係科目のみを履修すること。
- 教職免許状取得のための履修については、別表第4を参照のこと。

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
教育実習の事前事後指導 S	1	3～	講義	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅰ	4	3～	実習	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅱ	2	3～	実習	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅲ	2	3～	実習	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
教職実践演習（中・高）	2	4	演習	15	・教育実習を修了していないと履修できない。	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設

学校図書館司書教諭科目＜卒業所要単位外科目＞

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
学校経営と学校図書館	2	2～	講義	15		大学共通開設
学校図書館メディアの構成	2	2～	講義	15		大学共通開設
読書と豊かな人間性	2	2～	講義	15		大学共通開設
学習指導と学校図書館	2	2～	講義	15		大学共通開設
情報メディアの活用	2	2～	講義	15		大学共通開設

別表第2 授業科目表（第3条関係）
教育学部 発達科学科英語教育専攻 2024年度入学者～

I 群／外国語必修科目

I 群／外国語必修から4単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
English Study Skills	2	1	演習	30	・1年次必修科目
Communication Skills	2	1	演習	30	

II 群／外国語・教養選択科目

II 群／外国語・教養選択科目から16単位以上修得すること

※16単位を超えて修得した単位は〔自由選択科目〕に算入する。

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
基礎英語A	1	1～	演習	30		大学共通開設
基礎英語B	1	1～	演習	30		大学共通開設
Reading I A	1	1～	演習	30		教育学部発達科学科
Reading I B	1	1～	演習	30		教育学部発達科学科
Reading II A	1	2～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
Reading II B	1	2～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
Writing I A	1	1～	演習	30		大学共通開設
Writing I B	1	1～	演習	30		大学共通開設
Writing II A	1	2～	演習	30		大学共通開設
Writing II B	1	2～	演習	30		大学共通開設
VocabularyA	1	1～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
VocabularyB	1	1～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
ドイツ語 I A	2	1～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語 I B	2	1～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語 II A	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語 II B	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語 III A	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語 III B	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語 I A	2	1～	演習	30		大学共通開設
フランス語 I B	2	1～	演習	30		大学共通開設
フランス語 II A	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語 II B	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語 III A	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語 III B	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語 I A	2	1～	演習	30		大学共通開設
スペイン語 I B	2	1～	演習	30		大学共通開設
スペイン語 II A	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語 II B	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語 III A	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語 III B	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語 I A	2	1～	演習	30		大学共通開設
中国語 I B	2	1～	演習	30		大学共通開設
中国語 II A	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語 II B	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語 III A	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語 III B	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語 I A	2	1～	演習	30		大学共通開設
韓国語 I B	2	1～	演習	30		大学共通開設
韓国語 II A	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語 II B	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語 III A	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語 III B	1	2～	演習	30		大学共通開設
歴史学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
歴史学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
日本史概論	2	1～	講義	15		大学共通開設
外国史概論	2	1～	講義	15		大学共通開設

地理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学概論(地誌を含む)	2	1～	講義	15		教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
倫理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
倫理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
倫理学概論	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
哲学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
哲学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
哲学概論	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
文学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
文学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
論理学A	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
論理学B	2	1～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部（心理学専攻を除く）共通開設
国語表現法A	2	1～	講義	15		大学共通開設
国語表現法B	2	1～	講義	15		大学共通開設
美学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
美学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
比較文化論A	2	1～	講義	15		大学共通開設
比較文化論B	2	1～	講義	15		大学共通開設
文化人類学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
文化人類学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会学A	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
社会学B	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
法学A(国際法を含む)	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
法学B(国際法を含む)	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
統計学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
統計学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
心理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
心理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会心理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会心理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
政治学A(国際政治を含む)	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
政治学B(国際政治を含む)	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
情報社会科学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
情報社会科学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
環境科学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
環境科学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
代数学	2	1～	講義	15		大学共通開設
解析学	2	1～	講義	15		大学共通開設
数学概論A	2	1～	講義	15		大学共通開設
数学概論B	2	1～	講義	15		大学共通開設
物理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
物理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
化学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
化学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
生物学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
生物学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
科学史A	2	1～	講義	15		大学共通開設
科学史B	2	1～	講義	15		大学共通開設
日本国憲法	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
健康と運動の科学	2	1～	講義	15		大学共通開設
体育実技A	1	1～	実技	30		教育学部（スポーツ健康専攻を除く）共通開設
体育実技B	1	1～	実技	30		教育学部（スポーツ健康専攻を除く）共通開設
情報処理	2	1～	演習	15		教育学部発達科学科
マナーの基本	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
キャリアデザイン	2	1～	講義	15		大学共通開設 ※経営学部科目名称「キャリアデザインⅡ（基礎）」
コミュニケーション能力を磨こう	2	1～	講義	15		経営学部・教育学部共通開設
教養特講（講義）	2	1～	講義	15	・科目の内容が異なる場合は複数履修可	大学共通開設
教養特講（演習）	1	1～	演習	30		

Ⅲ群／専攻必修科目

Ⅲ群／専攻必修科目から1単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
フレッシュマンセミナー	1	1	演習	30	・1年次必修科目

Ⅳ群／専門選択科目

Ⅳ群／専門選択科目から74単位以上修得すること

※74単位を超えて修得した単位は〔自由選択科目〕に算入する。

＜教科専門科目＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
Speaking & Listening A	2	2～	演習	15		英語教育専攻
Speaking & Listening B	2	2～	演習	15		英語教育専攻
Speaking & Listening C	2	3～	演習	15		英語教育専攻
Reading & Vocabulary A	2	1～	演習	15		英語教育専攻
Reading & Vocabulary B	2	2～	演習	15		英語教育専攻
Reading & Vocabulary C	2	2～	演習	15		英語教育専攻
Basic Writing	2	1～	演習	15	・Writingを履修するものは「Basic」「Intermediate」「Advanced」の順に履修することを原則とする。	英語教育専攻
Intermediate Writing	2	1～	演習	15		英語教育専攻
Advanced Writing	2	2～	演習	15		英語教育専攻
Academic Writing	2	3～	演習	15		英語教育専攻
英文法A	2	1～	演習	15		英語教育専攻
英文法B	2	2～	講義	15		英語教育専攻
英文法C	2	2～	講義	15		英語教育専攻
英語学概論	2	1～	講義	15		英語教育専攻
発音トレーニング	2	1～	演習	15		英語教育専攻
音声学	2	1～	講義	15		英語教育専攻
英語文学概論	2	1～	講義	15		英語教育専攻
英語文学A	2	2～	演習	15		英語教育専攻
英語文学B	2	2～	演習	15		英語教育専攻
英語文学C	2	3～	演習	15		英語教育専攻
英語文学D	2	3～	講義	15		英語教育専攻
異文化理解	2	1～	講義	15		英語教育専攻
異文化間コミュニケーション論	2	2～	講義	15		英語教育専攻
英語圏地域研究	2	2～	演習	15		英語教育専攻
Remedial English	2	1～	講義	15		英語教育専攻
Discussion & Debate	2	3～	講義	15		英語教育専攻
Academic Lecture	2	2～	講義	15		英語教育専攻
Computing Essentials	2	1～	講義	15		英語教育専攻
Media Project A	2	2～	講義	15		英語教育専攻
Media Project B	2	2～	講義	15		英語教育専攻
Social Networking	2	2～	講義	15		英語教育専攻
英語教育評価論	2	3～	講義	15		英語教育専攻
英語教授法特論A	2	3～	講義	15		英語教育専攻
英語教授法特論B	2	3～	講義	15		英語教育専攻
Volunteering & Management	2	2～	講義	15		英語教育専攻
ソフォモアセミナー	2	2～	講義	15		英語教育専攻
第二言語習得論	2	2～	講義	15		英語教育専攻
＜教職専門科目＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
教育基礎論	2	1～	講義	15	・教職課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	大学共通開設
教師論	2	1～	講義	15		大学共通開設
教育制度論	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育心理学	2	1～	講義	15	・教職課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	大学共通開設
特別支援教育	2	2～	講義	15		大学共通開設

教育課程論	2	1～	講義	15		大学共通開設
道徳教育の理論と方法	2	2～	講義	15	・教職課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	大学共通開設
総合的な学習の時間の理論と方法	2	3～	講義	15		大学共通開設
特別活動の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育方法・技術論	2	1～	講義	15		大学共通開設
I C T活用の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
生徒・進路指導の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育相談の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
英語科教育法Ⅰ	2	1～	講義	15		英語教育専攻
英語科教育法Ⅱ	2	2～	講義	15		英語教育専攻
英語科教育法Ⅲ	2	2～	講義	15		英語教育専攻
英語科教育法Ⅳ	2	2～	講義	15		英語教育専攻
比較教育論	2	2～	講義	15		教育学部発達科学科
人権教育	2	3～	講義	15		教育学部発達科学科
＜英語教育関連科目＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
英語科教材論	2	2～	講義	15		英語教育専攻
小学校英語教育	2	2～	講義	15		英語教育専攻
英語コミュニケーション教育特講	2	1～	講義	15		英語教育専攻
英語で話す日本文化	2	2～	講義	15		英語教育専攻
課題研究	4	3～	演習	30		英語教育専攻
＜海外留学＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	
海外留学	1～32	1～	講義	15	・在学中に英語圏または派遣留学先の大学に留学し、修得した科目について32単位を上限として単位を認定する。 ・詳細は入学年度の履修要綱で確認すること。	
			演習	30		
＜ビジネス英語関連科目＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	
国際ビジネス英語Ⅰ	2	1～	講義	15		
国際ビジネス英語Ⅱ	2	1～	講義	15		
時事英語Ⅰ	2	1～	講義	15		
時事英語Ⅱ	2	1～	講義	15		
ビジネス実務	2	1～	講義	15		
貿易商務論Ⅰ	2	1～	講義	15		
貿易商務論Ⅱ	2	1～	講義	15		
＜学科共通科目＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	
福祉とボランティア	2	1～	講義	15		
教育の倫理学	2	1～	講義	15		
レクリエーション理論	2	2～	講義	15		
レクリエーション実技	1	2～	演習	30		
レクリエーション実習	1	3～	実習	30	・レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習を履修していない場合のみ履修可。	
野外運動A（キャンプ）	1	1～	演習	30		
野外運動B（雪上）	1	1～	演習	30		
救急法	2	1～	講義	15		
Teaching English to Children	2	2～	講義	15		
e－ラーニング	1	1～	演習	30		
教育情報処理	2	1～	演習	15		
社会人口学	2	1～	講義	15		
家族社会学	2	1～	講義	15		
TOEICⅠ	1	1～	演習	30		
TOEICⅡ	1	2～	演習	30		
TOEFLⅠ	1	1～	演習	30		
TOEFLⅡ	1	2～	演習	30		
Picture Books	2	1～	講義	15		
＜特講＞						
科目名	単位数	履修	授業	1単位	履修上の注意	

科目名	単位数	年次	方法	時間数	履修上の注意
専門特講（講義）	2	1～	講義	15	・ 科目の内容が異なる場合は複数履修可
専門特講（演習）	1	1～	演習	30	

V 群／卒業研究（必修科目）

V 群／卒業研究から 4 単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
卒業研究	4	4	演習	30	・ 履修の方法の詳細は、入学年度の履修要綱、説明会で確認すること。

自由選択科目

自由選択科目として 2 5 単位以上修得すること。

自由選択科目には、Ⅱ 群・Ⅳ 群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び他学部履修で修得した単位を充てることができる。

実習科目<卒業所要単位外科目>

教職課程登録者のみが履修できる。

該当免許の関係科目のみを履修すること。

教職免許状取得のための履修については、別表第 4 を参照のこと。

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
教育実習の事前事後指導 S	1	3～	講義	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅰ	4	3～	実習	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅱ	2	3～	実習	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅲ	2	3～	実習	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
教職実践演習（中・高）	2	4	演習	15	・ 教育実習を修了していないと履修できない。	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設

学校図書館司書教諭科目<卒業所要単位外科目>

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
学校経営と学校図書館	2	2～	講義	15		大学共通開設
学校図書館メディアの構成	2	2～	講義	15		大学共通開設
読書と豊かな人間性	2	2～	講義	15		大学共通開設
学習指導と学校図書館	2	2～	講義	15		大学共通開設
情報メディアの活用	2	2～	講義	15		大学共通開設

別表第2 授業科目表（第3条関係）
教育学部 発達科学科心理学専攻 2024年度入学者～

I 群／外国語必修科目

I 群／外国語必修から4単位修得すること

〈第一外国語〉					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
英語コミュニケーションⅠA	1	1	演習	30	・1年次必修科目
英語コミュニケーションⅠB	1	1	演習	30	
英語コミュニケーションⅡA	1	2	演習	30	・2年次必修科目
英語コミュニケーションⅡB	1	2	演習	30	

II 群／外国語・教養選択科目

II 群／外国語・教養選択科目から16単位以上修得すること

※16単位を超えて修得した単位は〔自由選択科目〕に算入する。

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
基礎英語A	1	1～	演習	30		大学共通開設
基礎英語B	1	1～	演習	30		大学共通開設
ReadingⅠA	1	1～	演習	30		教育学部発達科学科
ReadingⅠB	1	1～	演習	30		教育学部発達科学科
ReadingⅡA	1	2～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
ReadingⅡB	1	2～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
WritingⅠA	1	1～	演習	30		大学共通開設
WritingⅠB	1	1～	演習	30		大学共通開設
WritingⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
WritingⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
VocabularyA	1	1～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
VocabularyB	1	1～	演習	30		経営学部・教育学部共通開設
ドイツ語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
ドイツ語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
フランス語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
スペイン語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
中国語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅠA	2	1～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅠB	2	1～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅡA	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅡB	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅢA	1	2～	演習	30		大学共通開設
韓国語ⅢB	1	2～	演習	30		大学共通開設
歴史学A	2	1～	講義	15		大学共通開設

歴史学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
倫理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
倫理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
哲学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
哲学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
文学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
文学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
国語表現法A	2	1～	講義	15		大学共通開設
国語表現法B	2	1～	講義	15		大学共通開設
美学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
美学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
比較文化論A	2	1～	講義	15		大学共通開設
比較文化論B	2	1～	講義	15		大学共通開設
文化人類学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
文化人類学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会学A	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
社会学B	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
法学A (国際法を含む)	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
法学B (国際法を含む)	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
統計学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
統計学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
心理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
心理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会心理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
社会心理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
政治学A (国際政治を含む)	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
政治学B (国際政治を含む)	2	1～	講義	15		法学部・教育学部共通開設
情報社会科学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
情報社会科学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
環境科学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
環境科学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
代数学	2	1～	講義	15		大学共通開設
解析学	2	1～	講義	15		大学共通開設
数学概論A	2	1～	講義	15		大学共通開設
数学概論B	2	1～	講義	15		大学共通開設
物理学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
物理学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
化学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
化学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
生物学A	2	1～	講義	15		大学共通開設
生物学B	2	1～	講義	15		大学共通開設
科学史A	2	1～	講義	15		大学共通開設
科学史B	2	1～	講義	15		大学共通開設
日本国憲法	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
健康と運動の科学	2	1～	講義	15		大学共通開設
体育実技A	1	1～	実技	30		教育学部（スポーツ健康専攻を除く）共通開設
体育実技B	1	1～	実技	30		教育学部（スポーツ健康専攻を除く）共通開設
情報処理	2	1～	演習	15		教育学部発達科学科
マナーの基本	2	1～	講義	15		教育学部発達科学科
キャリアデザイン	2	1～	講義	15		大学共通開設 ※経営学部科目名称「キャリアデザインⅡ（基礎）」
コミュニケーション能力を磨こう	2	1～	講義	15		経営学部・教育学部共通開設
教養特講（講義）	2	1～	講義	15	・科目の内容が異なる場合は複数履修可	大学共通開設
教養特講（演習）	1	1～	演習	30		
海外留学	1～20	2～	講義	15	・単位認定科目 ・詳細は入学年度の履修要綱で確認すること。	法学部・教育学部（英語教育専攻を除く）共通開設
			演習	30		

Ⅲ群／専攻必修科目

Ⅲ群／専攻必修科目から1単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
フレッシュマンセミナー	1	1	演習	30	・1年次必修科目

Ⅳ群／専門選択科目

Ⅳ群／専門選択科目から7 4 単位以上修得すること

※74単位を超えて修得した単位は〔自由選択科目〕に算入する。

Ⅳ群／専門選択科目						
〈専攻専門科目〉						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
心理学概論A	2	1～	講義	15		心理学専攻
心理学概論B	2	1～	講義	15		心理学専攻
社会・集団・家族心理学	2	1～	講義	15		心理学専攻
心理学研究法	2	1～	講義	15		心理学専攻
心理統計の基礎	2	1～	講義	15	2020年度以降開講	心理学専攻
心理学統計法Ⅰ	2	2～	講義	15		心理学専攻
心理学統計法Ⅱ	2	3～	講義	15		心理学専攻
心理学実験Ⅰ	4	2～	演習	15		心理学専攻
心理学実験Ⅱ	4	2～	演習	15		心理学専攻
学習・言語心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
知覚・認知心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
発達心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
青年心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
神経・生理心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
比較心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
感情・人格心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
司法・犯罪心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
臨床心理学概論	2	2～	講義	15		心理学専攻
健康・医療心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
精神疾患とその治療	2	2～	講義	15		心理学専攻
障害者・障害児心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
環境心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
産業・組織心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
教育の測定と評価	2	3～	講義	15		心理学専攻
外書講読	2	3～	演習	30	・（ ）の内容が異なる場合は複数履修可	心理学専攻
精神分析学	2	2～	講義	15		心理学専攻
体育心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
ゼミナール	4	3～	演習	30		心理学専攻
心理学特講Ⅰ（講義）	2	1～	講義	15	・（ ）の内容が異なる場合は複数履修可	心理学専攻
心理学特講Ⅰ（演習）	1	1～	演習	30		心理学専攻
心理学特講Ⅱ（講義）	4	1～	講義	15		心理学専攻
心理学特講Ⅱ（演習）	2	1～	演習	30		心理学専攻
キャリア心理学	2	1～	講義	15		心理学専攻
公認心理師の職責	2	2～	講義	15		心理学専攻
教育・学校心理学	2	1～	講義	15		心理学専攻
心理的アセスメント	2	2～	講義	15		心理学専攻
心理学的支援法	2	2～	講義	15		心理学専攻
人体の構造と機能及び疾病	2	2～	講義	15		心理学専攻
福祉心理学	2	2～	講義	15		心理学専攻
関係行政論	2	2～	講義	15		心理学専攻
〈教科専門科目〉						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
日本史概論	2	1～	講義	15		大学共通開設
外国史概論	2	1～	講義	15		大学共通開設
地理学概論（地誌を含む）	2	1～	講義	15		心理学専攻
法学概論（国際法を含む）	2	1～	講義	15		心理学専攻
政治学概論（国際政治を含む）	2	1～	講義	15		心理学専攻
社会学概論	2	1～	講義	15		心理学専攻

経済学概論（国際経済を含む）	2	1～	講義	15		心理学専攻
行動経済学	2	2～	講義	15		心理学専攻
倫理学概論	2	1～	講義	15		心理学専攻
哲学概論	2	1～	講義	15		心理学専攻
論理学概論	2	1～	講義	15		心理学専攻
＜教職専門科目＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
教育基礎論	2	1～	講義	15		大学共通開設
教師論	2	1～	講義	15		大学共通開設
教育制度論	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育心理学	2	1～	講義	15		大学共通開設
特別支援教育	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育課程論	2	1～	講義	15		大学共通開設
道德教育の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
総合的な学習の時間の理論と方法	2	3～	講義	15		大学共通開設
特別活動の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育方法・技術論	2	1～	講義	15	・教職課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	大学共通開設
I C T活用の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
生徒・進路指導の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
教育相談の理論と方法	2	2～	講義	15		大学共通開設
社会科教育法Ⅰ	2	2～	講義	15	・教職課程登録状況により履修が制限される場合がある。 ・詳細は入学年度の履修要綱、履修登録年度の時間割等で確認すること。	経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
社会科教育法Ⅱ	2	2～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
社会科教育法Ⅲ	2	2～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
社会科・公民科教育法	2	2～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
公民科教育法	2	2～	講義	15		経営学部・法学部・教育学部心理学専攻共通開設
比較教育論	2	2～	講義	15		教育学部発達科学科
人権教育	2	3～	講義	15		教育学部発達科学科
＜学科共通科目＞						
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	
福祉とボランティア	2	1～	講義	15		
教育の倫理学	2	1～	講義	15		
レクリエーション理論	2	2～	講義	15		
レクリエーション実技	1	2～	演習	30		
レクリエーション実習	1	3～	実習	30	・レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習を履修していない場合のみ履修可。	
野外運動A（キャンプ）	1	1～	演習	30		
野外運動B（雪上）	1	1～	演習	30		
救急法	2	1～	講義	15		
Teaching English to Children	2	2～	講義	15		
e-ラーニング	1	1～	演習	30		
教育情報処理	2	1～	演習	30		
社会人口学	2	1～	講義	15		
家族社会学	2	1～	講義	15		
TOEICⅠ	1	1～	演習	30		
TOEICⅡ	1	2～	演習	30		
TOEFLⅠ	1	1～	演習	30		
TOEFLⅡ	1	2～	演習	30		
Picture Books	2	1～	講義	15		

＜特講＞					
科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
専門特講（講義）	2	1～	講義	15	・ 科目の内容が異なる場合は複数履修可
専門特講（演習）	1	1～	演習	30	

V 群／卒業研究（必修科目）

V 群／卒業研究から 4 単位修得すること

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
卒業研究	4	4	演習	30	・ 心理学特別研究 A または B で指導を受けた教員の指導を受けることを原則とする。 ・ 履修の方法の詳細は、入学年度の履修要綱、説明会で確認すること。

自由選択科目

自由選択科目として 2 5 単位以上修得すること
自由選択科目には、Ⅱ 群・Ⅳ 群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び他学部履修で修得した単位を充てることができる。

実習科目＜卒業所要単位外科目＞

教職課程登録者のみが履修できる。
該当免許の関係科目のみを履修すること。
教職免許状取得のための履修については、別表第 4 を参照のこと。

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
教育実習の事前事後指導 S	1	3～	講義	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅰ	4	3～	実習	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅱ	2	3～	実習	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
中等教育実習Ⅲ	2	3～	実習	30		経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設
教職実践演習（中・高）	2	4	演習	15	・ 教育実習を修了していないと履修できない。	経営学部・法学部・教育学部（児童教育専攻を除く）共通開設

公認心理師実習・演習科目＜卒業所要単位外科目＞

公認心理師資格取得希望者のみが履修できる。
公認心理師資格取得のための履修については、白鷗大学公認心理師資格課程の登録に関する規程を参照のこと。

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意
心理実習	2	3～	実習	40	・ 履修人数に限りがあるので、これまでの学修状況により選抜を行う可能性がある。
心理演習Ⅰ（心理面接）	1	3～	演習	30	
心理演習Ⅱ（心理検査）	1	3～	演習	30	

学校図書館司書教諭科目＜卒業所要単位外科目＞

科目名	単位数	履修年次	授業方法	1単位時間数	履修上の注意	開設学部・専攻
学校経営と学校図書館	2	2～	講義	15		大学共通開設
学校図書館メディアの構成	2	2～	講義	15		大学共通開設
読書と豊かな人間性	2	2～	講義	15		大学共通開設
学習指導と学校図書館	2	2～	講義	15		大学共通開設
情報メディアの活用	2	2～	講義	15		大学共通開設

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム推進部会内規

（設置）

第1条 白鷗大学情報処理教育研究センター運営委員会の下に数理・データサイエンス・AI 教育プログラム推進部会（以下、「部会」という。）を設置する。

（目的）

第2条 部会は、本学における数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（以下、「教育プログラム」という。）の策定及び運営を行うことを目的とする。

（任務）

第3条 部会は、次の事項を審議し、その運営にあたる。

- （1） 本学における数理・データサイエンス・AI 教育の推進
- （2） 教育プログラムの策定及び運営
- （3） 「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」への申請
- （4） 「数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム」への参加
- （5） その他、必要な事項

（組織）

第4条 部会は、情報処理教育研究センター運営委員会より選任された次の者をもって構成する。

- （1） 部会長 1名
- （2） 部会員 若干名

（任期）

第5条 部会長及び部会員の任期は原則として1年とする。ただし、再任を妨げない。

（審議）

第6条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、部会員の3分の2以上の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数による。

（補則）

第7条 この内規に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会が別に定めることができる。

附 則

この内規は、令和7年4月1日から施行する。

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム点検・評価部会内規

（設置）

第1条 白鷗大学情報処理教育研究センター運営委員会の下に数理・データサイエンス・AI 教育プログラム点検・評価部会（以下、「部会」という。）を設置する。

（目的）

第2条 部会は、本学における数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（以下、「教育プログラム」という。）の点検・評価を行うことを目的とする。

（任務）

第3条 部会は、次の事項を審議する。

- （1）教育プログラムの点検・評価
- （2）教育プログラム改善のための提言
- （3）その他、必要な事項

（組織）

第4条 部会は、情報処理教育研究センター運営委員会より選任された次の者をもって構成する。

- （1）部会長 1名
- （2）部会員 若干名

（任期）

第5条 部会長及び部会員の任期は原則として1年とする。ただし、再任を妨げない。

（審議）

第6条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、部会員の3分の2以上の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数による。

（補則）

第7条 この内規に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会が別に定めることができる。

附 則

この内規は、令和7年4月1日から施行する。

大学等名	白鷗大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和7年度

取組概要

目的と身につく力 本プログラムは数理・データサイエンス・AIに対する興味を育むとともに、経営・法・教育を学ぶ各学生が「自身の特性を生かしながらデータサイエンティストと協働できる基礎能力の養成」を目的とする。

対象者 経営学部、法学部、教育学部の全学生

科目の構成と修了要件 教養「データサイエンス基礎(2単位)」の修得

修了後の発展と関連科目 経営情報科学(経営学部)、データサイエンス(経営学部)、人工知能(経営学部)、アルゴリズム論(経営学部)、情報通信システム論(経営学部)、経営・経済データ統計(経営学部)、情報リテラシー(法学部)、情報処理(教育学部)、教育情報処理(教育学部)、心理学統計法(教育学部)など

特色

- ・文系学生が主体のため、数理的な理論よりもツールを用いた体験型の理解
- ・3学部混合で開講される授業のため、種々の観点と考えが交わるグループワーク
- ・LMS、Webツールを利用した双方向型の授業

実施体制

